

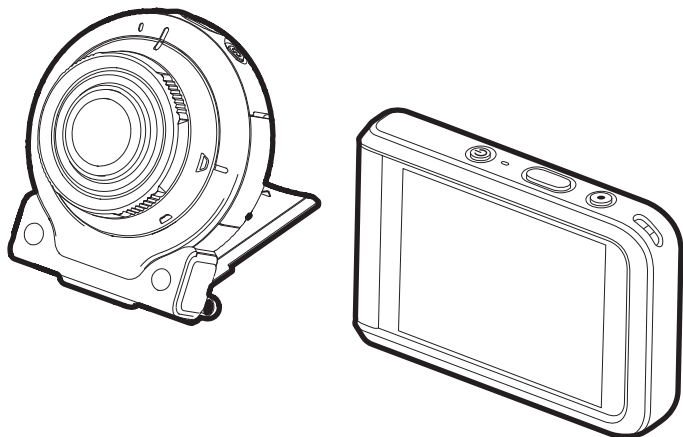
CASIO®

JA

デジタルカメラ

EX-FR200

取扱説明書



このたびはカシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ず別冊「クイックスタートガイド」の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。
- 本製品に関する情報は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (<http://casio.jp/dc/>) またはカシオホームページ (<http://casio.jp/>) でご覧になることができます。

この取扱説明書は次のファームウェアを対象としています。
カメラ：Ver. 1.10 コントローラー：Ver. 3.00

カシオメンバーズ会員サイト登録のおすすめ

カシオメンバーズは、カシオ製品にご興味をお持ちの方向けに提供するカシオの会員サイトです。
ご入会されますと以下のサービスをご利用いただけます。

1. 様々なカシオ製品のユーザー登録ができます。
2. キャンペーンに応募などに便利です。
3. 情報満載のメールマガジンをご登録いただけます。

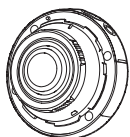
<https://members.casio.jp/jp/>



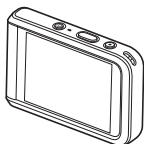
エクシリム
EXILIM

付属品を確認する

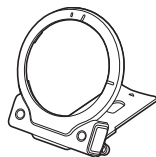
箱を開けたら、以下の付属品がそろっているか確認してください。そろっていないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



カメラ
(EX-FR200CA)



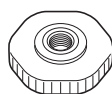
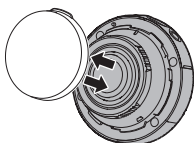
コントローラー
(EX-FR200CT)



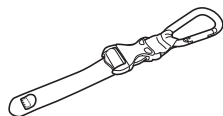
ヒンジユニット
• あらかじめカメラに装着されています。



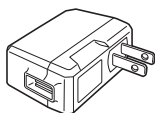
レンズキャップ
• あらかじめカメラに装着されています。



三脚ナット



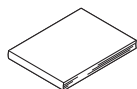
カラビナストラップ



USB-ACアダプター
(AD-C54UJ)



マイクロ
USBケーブル



クイックスタート
ガイド(保証書付き)

あらかじめご承知ください

- 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また、個人としてご利用になるほかは、著作権法上、当社に無断では使用できません。
- 万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 万一、EXILIM ConnectおよびEXILIM 360 Viewer(アプリケーションソフト)の使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えません。
- 取扱説明書に記載している画面やイラストは、実際の製品と異なる場合があります。

液晶パネルについて

液晶モニターに使用されている液晶パネルは、高精度な技術で作られており、有効画素は99.99%以上です。点灯しない画素や常時点灯する画素が存在することがありますが、液晶パネルの特性で、故障ではありません。

必ず電池を充電してお使いください。

カメラとコントローラーには、リチウムイオン充電電池が内蔵されています。お買い上げ後、電池は充電されていませんので、カメラとコントローラーの両方の電池を順番に充電してからご使用ください。

撮影前は試し撮りを

必ず事前に試し撮りをして、カメラに画像が正常に記録されていることを確認してください。

目次

付属品を確認する	2
あらかじめご承知ください	3
各部の名称	8
液晶モニターの表示内容と切り替えかた	9

■ はじめにご覧ください(基本的な操作) 12

このカメラでできること	12
アタッチメントを使う	14
■ コントローラー	14
■ ヒンジユニット	15
■ 三脚ナット	16
■ カラビナストラップ	17
タッチパネルを使う	18
箱を開けたら、電池を充電する	19
電源を入れる/切る	24
最初に電源を入れたら時計を合わせる	26
メモリーカードを準備する	27
■ 使用できるメモリーカード	27
■ メモリーカードを入れる	28
■ 新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する	29
静止画を撮影する	30
■ 撮影モードを“全天周”に設定する	30
■ 撮影する	31
撮影した静止画を見る	32
撮影した静止画や動画を消去する	32
静止画撮影時のご注意	34

■ 撮影する(応用) 35

撮影項目を設定する	35
撮影モードを設定して静止画を撮影する	35
■ 1回の撮影で約180度撮影する	(全天周) 36
■ パノラマ画像を撮影する	(パノラマ) 37
■ 4:3の画像を撮影する	(超広角) 38
イベントなどの様子を定期的に撮影する	(インターバル撮影) 39
動画を撮影する	42

■ よりよい撮影のための設定 43

撮影メニューを使う	43
■ 画面をタッチして撮影する	(タッチ撮影) 44
■ 動画の画質を設定する	(動画画質) 44
■ 動画撮影時の手ブレを軽減する	(動画手ブレ補正) 45
■ 何枚も連続して撮影する	(高速連写) 45
■ 明るさを補正する	(明るさ) 46
■ 色合いを調整する	(ホワイトバランス) 47

■ ISO感度を変える	(ISO感度)	48
■ 自分撮りをする	(鏡面反転)	48
■ 動画撮影時の風の音を低減する	(風音低減)	49
■ 撮影直後の画像を表示する	(撮影レビュー)	49
■ 常に全天周の静止画も保存する	(ダブル保存(全天周))	49

■ 静止画や動画を再生する 50

撮影した静止画を見る	50
撮影した動画を見る	50
撮影したパノラマの静止画を見る	51
画像を一覧表示する	52
画像を拡大して表示する	52
タイムラプス動画を作成する	(タイムラプス) 53

■ 再生時のその他の機能(再生機能) 55

再生メニューを使う	55
■ 画像を回転させる	(回転表示) 55
■ 全天周の静止画を加工する	(画像展開) 56

■ カメラとスマートフォンを接続する(無線接続) 57

スマートフォンでできること	57
無線モードについて	59
スマートフォンをカメラに接続するための準備	60
■ スマートフォンにEXILIM Connectをインストールする	60
■ 最初に無線接続設定をする	61
スマートフォンをカメラのリモコンとして使う	(スマートフォンで撮影) 63
カメラで撮影した画像を選んでスマートフォンに送る	(選択して送る) 64
カメラで撮影した画像をスマートフォンで見る	(スマートフォンから見る) 65
無線接続の設定をする	66
■ 撮影した画像をスマートフォンに自動で送信する	(自動送信) 66
■ 自動送信で送信する画像を選ぶ	(自動送信ファイル設定) 67
■ 静止画をリサイズしてスマートフォンに送信する	(送信時リサイズ) 67
■ 無線LAN接続時のカメラのパスワードを変更する	(無線LANパスワード) 68
■ ペアリングを解除する	(ペアリング解除) 68

■ 2台のカメラを使う(マルチカメラモード) 69

2台のカメラを使ってできること	69
追加するカメラの準備をする	70
カメラをコントローラーに登録する	70
マルチカメラモードについて	72
マルチカメラモードで撮影する	74
■ マルチ表示画面で撮影する	74
■ シングル表示画面で撮影する	76
マルチカメラモードで静止画や動画を再生する	78

■ マルチ表示画面での操作	78
■ シングル表示画面での操作	80

■ プリント(印刷)する 81

パソコンを使って印刷する	81
--------------	----

■ パソコンを利用する 82

パソコンを使ってできること	82
Windowsパソコンを利用する	82
■ 画像をパソコンに保存する/パソコンで見る	83
Macintoshを利用する	86
■ 画像をパソコンに保存する/パソコンで見る	87
ファイルとフォルダーについて	89
メモリー内のデータについて	90
さらにお楽しみいただくために	91

■ その他の設定について 92

液晶モニターの明るさを変える	(液晶設定)	92
液晶モニターに表示される内容を選ぶ	(情報表示)	92
カメラやコントローラーの画面の向きを固定する	(回転ロック)	92
カメラの音を設定する	(カメラ音)	93
パイブレーション機能を使う	(パイブレーション)	93
カメラの日時を設定し直す	(日時設定)	93
日付の表示の並びを変える	(表示スタイル)	94
表示言語を切り替える	(Language)	94
コントローラーがスリープモードになるまでの時間を変える	(スリープ)	94
メモリーをフォーマットする	(フォーマット)	95
各種設定を購入直後の設定に戻す	(リセット)	95
カメラのファームウェアのバージョンを確認する	(バージョン情報)	95
2台目のカメラを登録する	(マルチカメラモード)	95

■ 付録 96

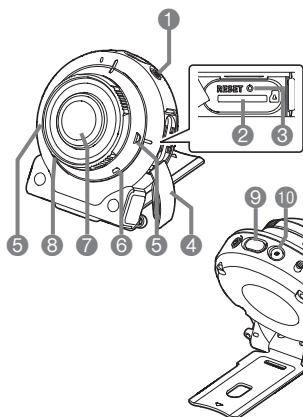
耐衝撃性能、防水/防塵性能について	96
使用上のご注意	99
電源について	106
■ 充電について	106
■ 電池に関するご注意	107
■ 海外で使うときは	107
カメラを廃棄するときは	107
メモリーカードについて	110
リセット操作でリセットされる内容	111
故障かな?と思ったら	112
■ 現象と対処方法	112

■ 画面に表示されるメッセージ	115
撮影可能枚数／撮影可能時間	117
主な仕様／別売品	119
索引	123

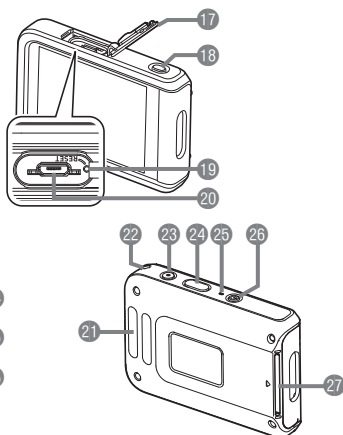
各部の名称

各部の説明が記載されている主なページを()内に示します。

カメラ部



コントローラー部



カメラ部

- ① **【ON】**(電源) (24ページ)
- ② メモリーカード挿入部 (28ページ)
- ③ リセットボタン (112ページ)
- ④ **【CARD】**カバー (28ページ)
- ⑤ マイク (17、42ページ)
- ⑥ 動作確認ランプ (20、22ページ)
- ⑦ レンズ (17ページ)
- ⑧ 無線LAN接続確認ランプ (62ページ)
- ⑨ シャッター (31ページ)
- ⑩ **【●】**(ムービー) (42ページ)
- ⑪ スピーカー

- ⑫ カバーレンズ*
- ⑬ **【FREE】**レバー (15ページ)
- ⑭ **【USB】**端子 (19、21ページ)
- ⑮ **【USB】**カバー (19、21ページ)
- ⑯ ストラップ取り付け部

コントローラー部

- ⑰ **【USB】**カバー (19、21ページ)
- ⑱ **【RELEASE】**ボタン (14ページ)
- ⑲ リセットボタン (112ページ)
- ⑳ **【USB】**端子 (19、21ページ)

- ㉑ カラビナストラップ 取り付け部 (17ページ)
- ㉒ ストラップ取り付け部
- ㉓ **【●】**(ムービー) (42ページ)
- ㉔ シャッター (31ページ)
- ㉕ 動作確認ランプ (20、22ページ)
- ㉖ **【ON】**(電源) (24ページ)
- ㉗ ヒンジユニット挿入部 (14ページ)

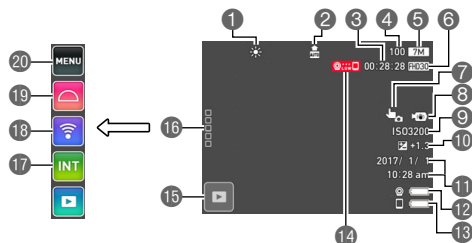
※ カバーレンズは取り外さないでください。取り外すとカメラの防水/防塵性能が保てなくなります。

液晶モニターの表示内容と切り替えかた

液晶モニターには、さまざまな情報がアイコンや数字などで表示されます。

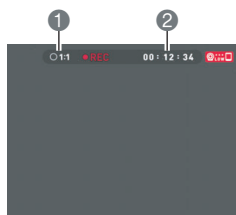
- 下の画面は、情報が表示される位置を示すためのものです。液晶モニターが実際にこの画面のようになることはありません。

■ 静止画撮影時



- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| ① ホワイトバランス(47ページ) | ⑫ カメラ電池残量(23ページ) |
| ② 自動送信(66ページ) | ⑬ コントローラー電池残量(23ページ) |
| ③ 動画撮影可能時間(117ページ) | ⑭ カメラとの通信状況(24ページ) |
| ④ 静止画撮影可能枚数
(117ページ) | ⑮ 再生モード切替アイコン(25ページ) |
| ⑤ 静止画サイズ(117ページ) | ⑯ "□□□□□"(呼び出し)アイコン |
| ⑥ 動画画質(44ページ) | ⑰ インターバル撮影アイコン(39ページ) |
| ⑦ タッチ撮影の動作(44ページ) | ⑱ 無線モードアイコン(59ページ) |
| ⑧ 動画手ブレ補正(45ページ) | ⑲ 撮影モードアイコン(35ページ) |
| ⑨ ISO感度(48ページ) | ⑳ メニューアイコン(43ページ) |
| ⑩ 明るさ(46ページ) | |
| ⑪ 日付/時刻(26, 93ページ) | |

■ 動画撮影時

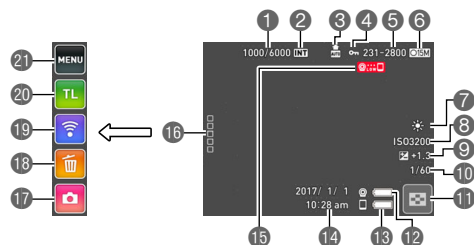


- 1 動画画質 (44ページ)
- 2 動画の撮影時間 (42ページ)

■ 参考

- 撮影時に操作がない時間が続くと、3秒後にアイコンが透過します。

■ 静止画再生時

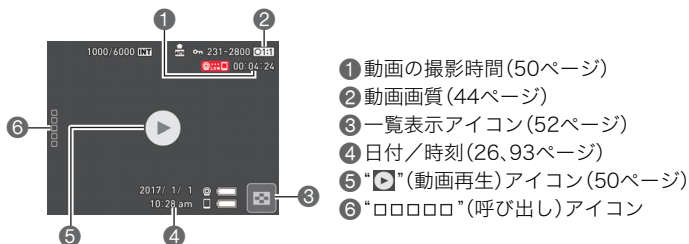


- 1 グループ画像の番号／撮影枚数 (39、45ページ)
- 2 グループ画像 (高速連写 (45ページ)、
インターバル撮影 (39ページ))
- 3 自動送信 (66ページ)
- 4 プロテクト表示
- 5 フォルダー名－ファイル名 (89ページ)
- 6 静止画サイズ (117ページ)
- 7 ホワイトバランス (47ページ)
- 8 ISO感度 (48ページ)
- 9 明るさ (46ページ)
- 10 シャッター速度
- 11 一覧表示アイコン (52ページ)
- 12 カメラ電池残量 (23ページ)
- 13 コントローラー電池残量 (23ページ)
- 14 日付／時刻 (26、93ページ)
- 15 カメラとの通信状況 (25ページ)
- 16 “□□□□” (呼び出し) アイコン
- 17 撮影モード切替アイコン (25ページ)
- 18 消去アイコン (32ページ)
- 19 無線モードアイコン (59、65ページ)
- 20 タイムラプスアイコン (53ページ)
- 21 メニューアイコン (43ページ)

参考

- 画面の右上に表示されるフォルダー名-ファイル名の意味は下記のとおりです(89ページ)。
例) 100-0023:"100CASIO"というフォルダー内の23番目の画像ファイル

■ 動画再生時



参考

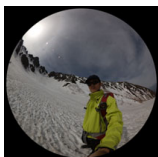
- 再生時に操作がない時間が続くと、3秒後にアイコンが透過します。

はじめにご覧ください(基本的な操作)

このカメラでできること

このカメラには、撮影に便利なさまざまな機能が搭載されていますが、ここでは代表的な機能を紹介します。

■ 撮る



画角を気にせず撮影

周囲と自分を1回で撮影できます。

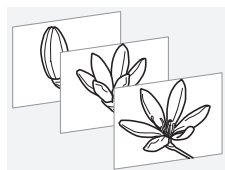
→35ページ



さまざまなスタイルで撮影

カメラとコントローラーはBluetooth® (以下、Bluetoothと略)無線技術で接続します。ヒンジユニットや三脚ナットを使って、さまざまな角度から撮影できます。

→14ページ



インターバル撮影

一定の撮影間隔で静止画や動画を自動で撮影できます。行動や変化を簡単に記録できます。

→39ページ

■ 見せる

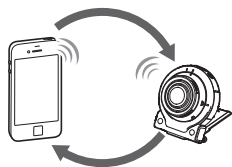


タイムラプス

撮影した静止画をつなぎあわせて動画を作成します。

→53ページ

■ 共有する

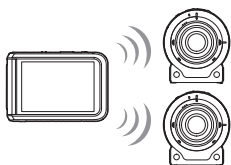


無線接続

スマートフォンをカメラのリモコンとして使ったり、撮影した画像をスマートフォンにコピーできます。

→57ページ

■ 2台のカメラを使う



マルチカメラモード

カメラをもう1台追加して使用することによって、コントローラーで2台のカメラを操作することができます。

→69ページ

アタッチメントを使う

本機は、ヒンジユニットを使うことでカメラにコントローラーを取り付けたり、付属品や別売品の各種アタッチメントを取り付けることができる構造になっています。目的に応じたスタイルで撮影してください。

重要

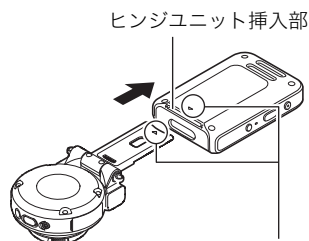
- 液晶モニターを強く押さないでください。液晶モニターが破損することがあります。
- レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮されませんので、レンズ面には触れないでください。レンズ面の汚れは、ブローアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。

コントローラー

コントローラーをカメラに取り付けて、通常のカメラのように使うことができます。

■ 取り付ける

1. カメラのレンズとコントローラーの液晶モニターを同じ向きにして、ヒンジユニットをコントローラーのヒンジユニット挿入部に差し込む
2. “カチッ”と音がするまで押し込む



ヒンジユニットの先端の▼マークとコントローラーのヒンジユニット挿入部の▲マークを合わせてください。

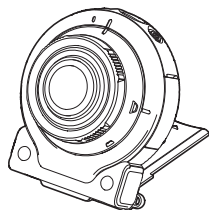
■ 取り外す

1. コントローラーの【RELEASE】ボタンを押しながら、カメラを引き抜く



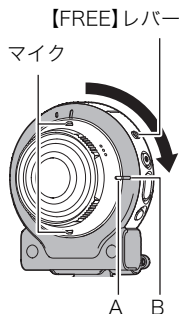
ヒンジユニット

■ ヒンジユニットをスタンド形状にして使用する



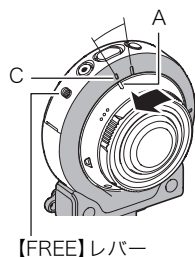
■ 撮影方向を90度変更する

1. カメラの【FREE】レバーを引き下げながら、カメラを時計回りに“カチッ”と音がするまで90度回す
 - マーク“A”をヒンジユニットのマーク“B”に合わせます。
 - マイクがある方が撮影される画像の向き(水平方向)を示します。

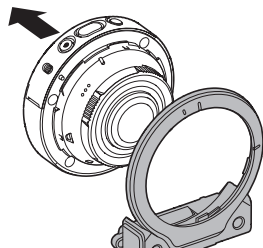


■ ヒンジユニットを取り外す

1. カメラの【FREE】レバーを引き下げながらカメラを反時計回りに約15度回し、マーク“A”をヒンジユニットのマーク“C”に合わせる



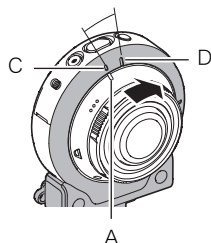
2. ヒンジユニットをカメラから取り外す



■ ヒンジユニットを取り付ける

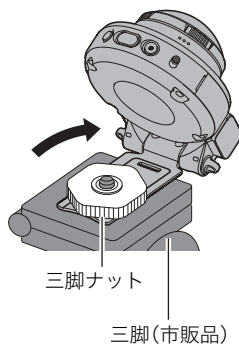
1. マーク“A”にヒンジユニットのマーク“C”を合わせる

2. カメラを時計回りに約15度回してマーク“A”にヒンジユニットのマーク“D”を合わせ、ヒンジユニットを固定する



三脚ナット

1. 三脚ナットの固定ネジで三脚(市販品)とヒンジユニットを固定する



カラビナストラップ

1. カラビナストラップのベルトをコントローラーのカラビナストラップ取り付け部に通す

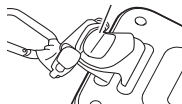


2. ベルトをバックルに通して固定する
ベルトのフラップ部が、バックルを完全に通り抜けるまでベルトを引っ張ってください。



3. フラップ部をバックルに引っ掛ける

4. カラビナとコントローラーを引っ張り、フラップ部がバックルに引っかかり、固定されていることを確認する

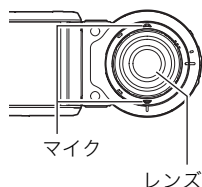


重要

- カラビナストラップは登山用としては使用できません。本機を吊り下げる用途だけに使用してください。

参考

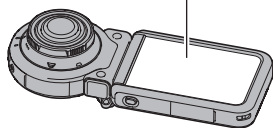
- 撮影するときは、シャッターを静かに押し、シャッターを押し切った瞬間とその直後はカメラが動かないようにしてください。
- 指やストラップが図に示す部分をふさがないようにしてください。
- ストラップを持って本機を振り回さないでください。
- 付属のストラップは本機専用です。他の用途には使用しないでください。



タッチパネルを使う

本機の液晶モニターはタッチパネルになっています。指を使用して、さまざまな操作ができます。

液晶モニター



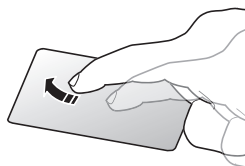
タッチ

画面に触れて離します。
アイコンやメニュー項目を選んだり、設定したりします。



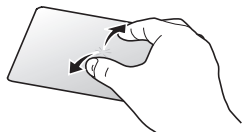
フリック

画面を触り、上下左右にはじくように指を動かします。
前後の画像を表示するときなどに使用します。



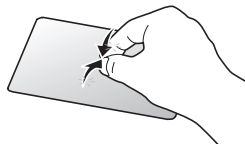
2本の指でタッチしながら広げる

画面を2本の指で触り、触ったまま指を広げます。
画像を拡大して表示します。



2本の指でタッチしながら狭める

画面を2本の指で触り、触ったまま指を狭めます。
画像を縮小したり、画像の一覧を表示します。



重要

- 先がとがったものや硬いもので押さないでください。液晶モニターが破損することがあります。
- タッチパネルは爪では認識しづらいので、指の腹で操作してください。

参考

- 市販の液晶保護シートを貼ると、操作が感知されにくくなります。

箱を開いたら、電池を充電する

カメラとコントローラーには、リチウムイオン充電電池が内蔵されています。お買い上げ後、電池は充電されていませんので、カメラとコントローラーの両方の電池を順番に充電してからご使用ください。

電池は次の2種類の方法で充電できます。

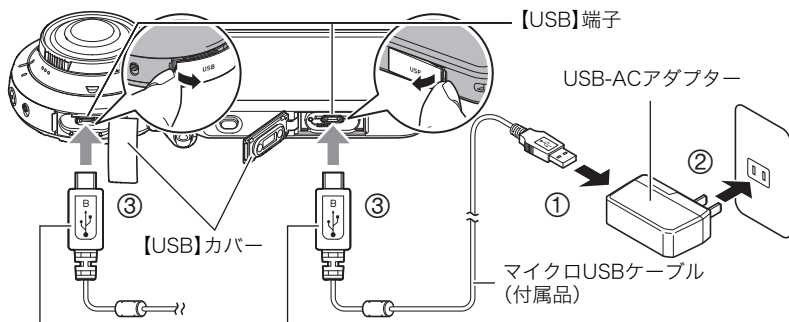
- USB-ACアダプター(AD-C54UJ)を使って充電する
- パソコンのUSB端子から充電する(付属のマイクロUSBケーブルを使用)

■ USB-ACアダプターで充電する

カメラおよびコントローラーの電源が切れた状態で、①、②、③の順に接続します。

充電時間:カメラ:約2時間45分

コントローラー:約2時間55分



小さいコネクタ(マイクロUSBコネクタ)の \blacktriangleleft マークを以下の向きにして差し込みます。

カメラ:レンズ側

コントローラー:液晶モニター側

- カメラおよびコントローラーからアダプターを外す場合は、必ずカメラおよびコントローラー側(上の図の③)から先に外してください。

参考

- USB-ACアダプターで充電中でも、カメラおよびコントローラーの電源を入れると、撮影などの操作ができます。ただし、カメラの場合は充電が停止します。

■ 動作確認ランプの動作

電源が切れた状態のとき

動作	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(106ページ)／タイマーによる充電終了
消灯	充電完了

電源を入れたとき

- カメラ

動作	内容
緑点灯	カメラ動作中 充電停止
赤点灯	充電中
赤と緑が素早く点滅	スリープ 内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(106ページ)／タイマーによる充電終了
緑がゆっくり点滅	充電完了

- コントローラー

動作	内容
オレンジ点灯 (赤とオレンジがゆっくり点滅)	充電中
緑とオレンジが素早く点滅 (赤と緑が素早く点滅)	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(106ページ)／タイマーによる充電終了
緑点灯(緑がゆっくり点滅)	充電完了

- ()内はスリープしたときの動作です。

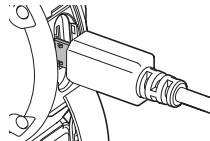
重要

- 長期間電池を使わなかった場合や周囲の温度によっては、充電時間がさらに延びる場合があります。また、動作確認ランプが赤く点滅することがあります。その場合は、106ページをご覧ください。
- 充電中、USB-ACアダプターは若干熱を持ちますが、故障ではありません。

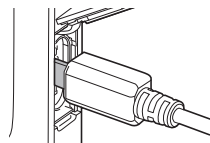
充電中に動作確認ランプが点灯または点滅しない場合は、USBケーブルの向きを確認してみてください。

- USBケーブル接続時は、ケーブルのコネクタをカチッとクリック感があるまでカメラへ押し込んでください。完全に挿入しないと、通信不良や製品の故障の原因となります。
- 完全に挿入しても、イラストのようにコネクタの金属部が見えます。

カメラ

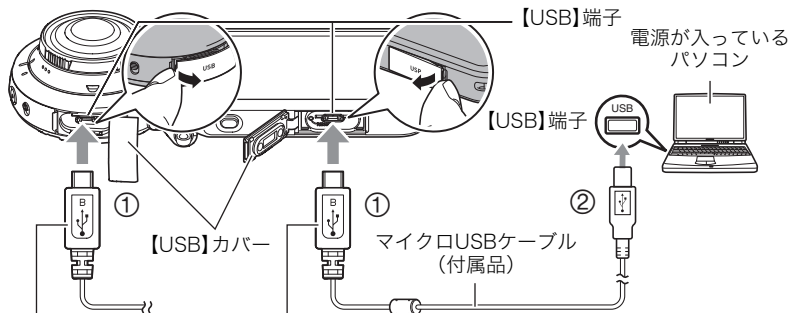


コントローラー



■ パソコンのUSB端子から充電する

カメラおよびコントローラーの電源が切れた状態で、①と②の接続をします。



小さいコネクタ(マイクロUSBコネクタ)の•←マークを以下の向きにして差し込みます。

カメラ: レンズ側

コントローラー: 液晶モニター側

- カメラまたはコントローラーの電源が入っているときは、パソコンに接続する前に【⏻】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切ってください。

充電時間: カメラ: 約3時間35分

コントローラー: 約2時間55分

参考

- パソコンで充電中にカメラの電源を入れると、充電を継続したままパソコンとのUSB通信状態に移行します。コントローラーの電源を入れた場合は、充電を継続したまま電源が入ります。ただし、パソコンの種類や接続環境により給電能力が低い場合は、充電が停止します。

■ 動作確認ランプの動作

電源が切れた状態のとき

動作	内容
赤点灯	充電中
赤点滅	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(106ページ)／タイマーによる充電終了
消灯	充電完了

電源を入れたとき

- カメラ

動作	内容
緑点灯	充電停止
赤と緑が素早く点滅	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(106ページ)／タイマーによる充電終了

- コントローラー

動作	内容
オレンジ点灯 (赤とオレンジがゆっくり点滅)	充電中
緑とオレンジが素早く点滅 (赤と緑が素早く点滅)	内部温度の異常／USB-ACアダプターの異常／電池の異常(106ページ)／タイマーによる充電終了
緑点灯(緑がゆっくり点滅)	充電完了

- ()内はスリープしたときの動作です。

重要

- 初めてカメラまたはコントローラーをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。
- 長期間電池を使わなかった場合や、パソコンの種類や接続環境によっては、充電時間がさらに延びる場合があります。また、動作確認ランプが赤く点滅することがあります。その場合は、112ページをご覧ください。
- より早く充電を完了するためには、付属のUSB-ACアダプターで充電することをおすすめします。
- パソコンが休止状態のときは充電できません。

その他充電についてのご注意

- 充電機は本書指定の方法で充電してください。
- 本機はUSB2.0準拠のUSB端子からのみ充電できます。
- USB充電に対応する機器や電源機器には、一定の規格があります。粗悪なもの、規格から外れるもののご使用は、機器の誤動作、故障の原因になることがあります。
- 自作のパソコンや改造したパソコンでの動作は保証できません。市販のパソコンでもUSBポートの仕様によっては、USBケーブルを接続しても充電されないことがあります。
- 使用直後の熱くなった電池は、十分に充電されない場合があります。電池が冷めるのを待ってから充電してください。
- 電池は使用しない場合でも、自己放電します。必ず充電してからご使用ください。
- 充電中、テレビやラジオに雑音が入ることがあります。その場合、テレビやラジオからできるだけ離れたコンセントをご使用ください。
- 充電時間は、電池の容量や残量、使用環境によって若干変化します。
- USB-ACアダプター(AD-C54UJ)は本機以外には使用しないでください。
- 充電は、本書で指定したUSB-ACアダプター、USBケーブルをご使用ください。指定以外のもので充電した場合は、正しく充電できないことがあります。

電池の残量を確認するには

電池が消耗すると、液晶モニターに表示される電池残量表示が下記のように変化します。

電池の残量		多い	←	→	少ない					
電池残量表示	カメラ		→		→		→		→	
	コントローラー		→		→		→		→	
残量表示の色		白	→	白	→	赤	→	赤		

は電池残量が少ないことを表しています。早めに充電してください。

は間もなく電池残量が無くなることを表しています。すぐに充電してください。

- 撮影モードと再生モードを切り替えた場合、電池残量表示の状態が変わることがあります。
- 電池が消耗している状態でカメラを約7日放置すると、日時の設定がリセットされます。新たに電源を入れたとき、日付の設定をお知らせする画面が表示されますので、日付を設定してください(93ページ)。
- 電池寿命と撮影枚数に関しては120ページをご覧ください。

■ カメラとコントローラーの無線接続について

カメラとコントローラーはBluetooth無線技術で接続します。接続に必要なペアリングはあらかじめ行われているので、カメラとコントローラーの電源を入れるだけで自動的にBluetooth無線技術で接続します。カメラとコントローラーが離れすぎているときは、このBluetooth無線技術での接続は解除されます。Bluetooth無線技術での接続が解除されると、コントローラーは一定の時間経過後に電源が切れます。カメラは電源が入ったままになっているので、カメラのシャッターを押して撮影することはできません。



重要

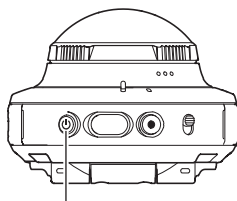
- 本機は、無線通信機能のBluetooth無線技術での接続機能を搭載しています。飛行機機内などの無線通信機能が制限されている場所では、カメラ単独動作も含めてご使用できません。

■ 電源を入れる

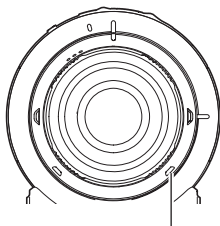
本機を使用するには、カメラとコントローラーの両方の電源を入れる必要があります。

カメラ

【⏻】(電源)を押します。



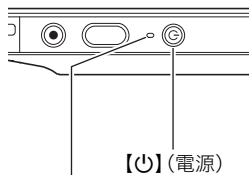
【⏻】(電源)




動作確認ランプ

コントローラー

【⏻】(電源)を押します。

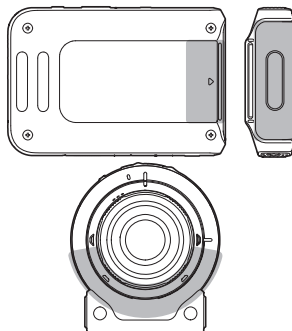


動作確認ランプ

- 電源が入ると、カメラとコントローラーの動作確認ランプが緑色に点灯し、カメラとコントローラーのBluetooth無線技術での接続が自動で開始されます。コントローラーの画面に画像が表示され、撮影できる状態になります。
- カメラとコントローラーの向きや、距離によって通信状態が変わります。
- カメラとコントローラーが離れた状態で撮影する場合、コントローラーのシャッターを押して撮影できる範囲は約10mです。また、コントローラーのモニター画面に映像を表示できる範囲は約5mです。
- 通信状態が悪い場合は、コントローラーの動作確認ランプが緑色に点滅し、画面に「

24

- カメラとコントローラーの通信が安定した状態でお使いいただくため、以下の点に注意してください。
 - 右のイラストに指示している付近を覆わないようにする
 - コントローラーの後面をカメラに向ける
 - カメラとコントローラーの間に障害物を置かない



スリープモードについて

カメラとコントローラーがBluetooth無線技術で接続されているときにコントローラーの【⏻】(電源)を押す、または、セットアップメニューの“スリープ”(94ページ)で設定した時間コントローラーを操作しないと、表示が消えてカメラとコントローラーはスリープモードになります。スリープモード中は、動作確認ランプが緑色でゆっくり点滅します。スリープモード中にコントローラーのいずれかのボタンを押すと、表示が戻ります。スリープモードにしておくと、スリープモード中でもカメラとコントローラーはBluetooth無線技術で省電力のまま接続された状態になっているので、使用する際は素早く操作できます。

- スリープモード中も、カメラとコントローラーの距離が離れた場合や通信状態が悪くなると、接続が切れる可能性があります。

撮影モードと再生モードを切り替える

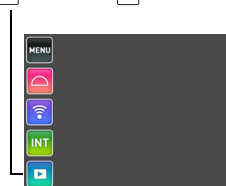
再生モードにする	<p>撮影モードのときに“⏮” (再生) をタッチする</p> <ul style="list-style-type: none"> “⏮” (再生) が表示されていない場合は、撮影レビュー (49ページ) をタッチするか、“□□□□” (呼び出し) をタッチして表示される“⏮” (再生) をタッチして、再生モードに切り替えることもできます。
撮影モードにする	<p>再生モードのときに“□□□□” (呼び出し) をタッチして表示される“📷” (撮影) をタッチする</p>

“□□□□”
(呼び出し)



“□□□□” (呼び出し) を
タッチした状態の画面

“⏮” (再生) / “📷” (撮影)



■ 電源を切る

カメラとコントローラー両方の【⏻】(電源)を約2秒間押し続けます。

- カメラの電源を切ると、コントローラーの電源も自動的に切れます。
- 電源オフ時には、カメラから終了音が鳴ります。カメラの電源は、処理終了後に切れます。

最初に電源を入れたら時計を合わせる

お買い上げ後、最初に電源を入れたときは時計を設定する画面が表示されます。時計を設定しないと、撮影した画像に正しい日時が記録されません。

1. カメラとコントローラーの電源を入れる(24ページ)

- 初めて電源を入れたときは、言語選択表示画面が表示されます。言語選択画面が表示されない場合は、カメラの電源が入っているか確認してください。

2. コントローラーの画面を上下にフリックまたは"をタッチして、使用したい言語を表示させてタッチする

3. 使用したい日付のスタイルをタッチする





例)2017年7月10日

年/月/日→17/7/10

日/月/年→10/7/17

月/日/年→7/10/17

4. 日付と時刻を合わせる

- 変更したい値(年、月、日、時、分)をタッチして、"で数字を合わせます。
- 12時間/24時間表示を切り替えるには、“am(pm)”/“24h”を選び、“”をタッチします。



時間表示切替

5. 日付/時刻合わせが終了したら、“OK”をタッチする

日付/時刻を間違っ設定した場合、上記の手順では直せません。93ページをご覧ください。
なり、設定し直してください。

参考

- 専用アプリEXILIM Connectに接続して、EXILIM Connectでカメラの日時を設定することにより、カメラのタイムゾーンをスマートフォンのタイムゾーンに合わせて切り替えることができます。詳しくは、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。

メモリーカードを準備する

撮影する画像を保存するため、市販のメモリーカードをご用意ください(本機にメモリーカードは付属していません)。本機はメモリーを内蔵しており、この内蔵メモリーだけでも数枚程度の静止画や短い動画の撮影はできます。メモリーカードを入れているときはメモリーカードに、入れていないときは内蔵メモリーに記録されます。

- 内蔵メモリーに保存した静止画や動画は、カメラ内でメモリーカードにコピーはできません。
- 保存できる枚数については117ページをご覧ください。

使用できるメモリーカード

- microSDメモリーカード
- microSDHCメモリーカード
- microSDXCメモリーカード



- 使用できるメモリーカードの種類は2016年5月現在のものです。
- microSD規格に準拠したメモリーカードに対応しており、規格上の容量は、microSDメモリーカードが2GB以下、microSDHCメモリーカードが2GB超～32GB以下、microSDXCメモリーカードが32GB超～2TB以下となります。前記のメモリーカードであっても、容量をはじめ、すべてのカードで動作を保証するものではありません。

当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。具体的なメーカー名や対応容量などの詳細は、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトの「デジタルカメラお客様サポートメニュー」(<http://casio.jp/support/dc/>)をご覧くださいか、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

警告

- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。

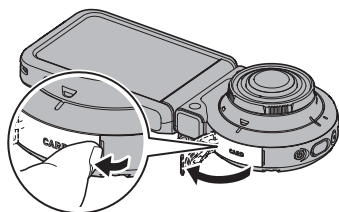


■ メモリーカードのご使用上の注意

メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合があります。特に高品位の動画は正常に記録できない場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。

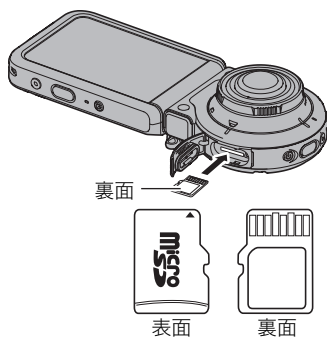
メモリーカードを入れる

1. カメラの【O】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切り、カメラの【CARD】カバーを開ける

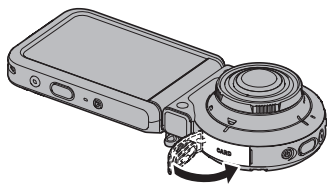


2. メモリーカードを入れる

メモリーカードの裏面をレンズ側にして、メモリーカード挿入口にカチッと音がするまで押し込みます。



3. 【CARD】カバーを閉じる

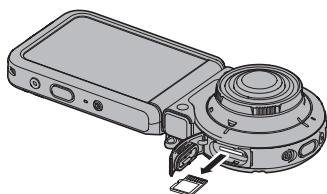


重要

- メモリーカード挿入口には指定のメモリーカード(27ページ)以外のは入れないでください。
- 万一異物や水がメモリーカード挿入部に入り込んだ場合は、本機の電源を切って、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ メモリーカードを交換する

メモリーカードを押すとカードが少し出てきますので、引き抜いて別のメモリーカードを入れます。



★ 重要

- メモリーカードの交換は、カメラ本体の電源を切ってから行ってください。電源が入った状態で行うと、撮影された画像が記録されなかったり、メモリーカードを破壊する恐れがあります。

新しいメモリーカードをフォーマット(初期化)する

本機で初めて使用するメモリーカードはカメラでフォーマットしてください。

★ 重要

- すでに静止画などが保存されているメモリーカードをフォーマットすると、その内容がすべて消去されます。フォーマットは通常行う必要はありませんが、画像の記録速度が遅くなったなどの異常が見られる場合にフォーマットしてください。
- メモリーカードをフォーマットするときは必ずカメラでフォーマットしてください。パソコンでフォーマットするとSD規格非準拠となり、処理速度が著しく遅くなるなど、互換性や性能等で問題が生じる場合があります。

1. カメラにメモリーカードを入れる(28ページ)

2. カメラとコントローラーの電源を入れて、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

3. “MENU”をタッチする

4. “⚙️ セットアップ”タブをタッチする

5. 画面を上下にフリックして“フォーマット”を表示し、タッチする

6. “フォーマット”をタッチし、“はい”をタッチする
メモリーカードのフォーマットが開始されます。

静止画を撮影する

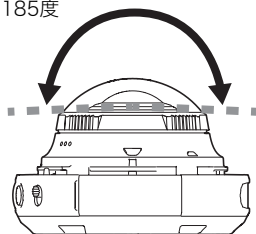
本機には、目的に応じた撮影モード(35ページ)が複数搭載されており、撮影方法もさまざまです。ここでは、撮影モードを“全天周”にして撮影する方法を説明します。

撮影モードを“全天周”に設定する

より広い範囲の画像を撮ることができます。保存される画像は円形になります。

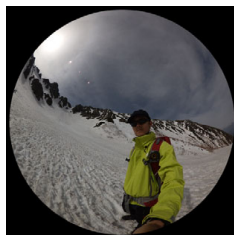
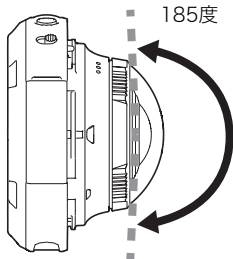
上に向けてと…

185度



前に向けてと…

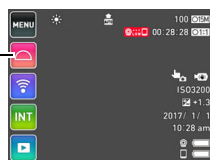
185度



1. カメラとコントローラーの電源を入れる(24ページ)
カメラとコントローラーが撮影モードで起動します。
2. “□□□□”(呼び出し)をタッチする

3. 上から2番目(縦表示の場合は、右から2番目)のアイコン(撮影モード)をタッチする

撮影モードアイコン



4. “全天周”をタッチする



撮影する

1. カメラまたはコントローラーのシャッターを押す
全体にピントを合わせて、静止画が撮影されます。
- 静止画を撮影すると、動作確認ランプが赤色に一度点灯します。

動画を撮影するには

カメラまたはコントローラーの【●】(ムービー)を押すと、動画の撮影が開始されます。
再度【●】(ムービー)を押すと、撮影を終了します。
詳しくは42ページをご覧ください。

参考

- 画面をタッチして、静止画を撮影することもできます(44ページ)。
- 撮影する静止画の画像サイズは15M(3888×3888)に固定されます。
- 動画を撮影中は、動作確認ランプが赤色に点滅します。

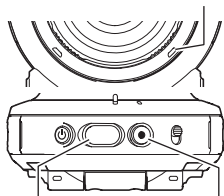
■ カメラ単体で撮影する

コントローラーの電源が入っていないなど、カメラとコントローラーが接続していない状態でも、カメラ単体で撮影できます。

- インターバル撮影中(39ページ)、または動画撮影中(42ページ)にコントローラーの電源を切っても、撮影は継続します。

カメラ

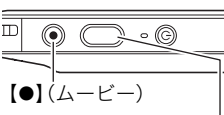
動作確認ランプ



シャッター

【●】(ムービー)

コントローラー



【●】(ムービー)

シャッター

撮影した静止画を見る


撮影した静止画を液晶モニターで見ることができます。

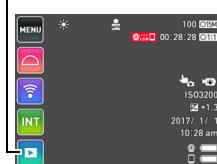
- 動画の再生方法については50ページをご覧ください。

1. “” (再生) をタッチして、再生モードにする

記録されている静止画の1つが液晶モニターに表示されます。

- 撮影レビュー(49ページ)をタッチして、再生モードに切り替えることもできます。
- 表示されている静止画についての情報も表示されます(10ページ)。
- 情報表示を消して、静止画だけを見ることもできます(92ページ)。
- 液晶モニターをタッチして、画像を拡大して表示できます(52ページ)。大切な写真を撮影したときは、撮影した画像を拡大表示して画像を確認することをおすすめします。

“” (再生)



2. 画像を左右にフリックして、前後の静止画に切り替える

参考

- 再生モード時やメニュー画面を表示している最中にコントローラーのシャッターを押すと、撮影モードに切り替わります。
- 再生できない画像には“?”が表示されることがあります。

撮影した静止画や動画を消去する

メモリー残量が足りなくなっても、撮影した静止画や動画を消去することによりメモリーの残り容量を確保して、また新しい写真撮影ができるようになります。

重要

- 消去したファイルは元に戻せません。

■ 1ファイルずつ消去する

1. 再生モードにする


2. “” (呼び出し) をタッチする

3. “” をタッチする



4. “1ファイル消去” をタッチする

5. 画面を左右にフリックして、消去したい画像を表示する



-
6. “” (消去) をタッチする
選んだ画像が消去されます。

■ すべてのファイルを消去する

1. 再生モードにする
2. “” (呼び出し) をタッチする
3. “” をタッチする
4. “全ファイル消去” をタッチする
5. “消去” をタッチする
すべてのファイルが消去され、“ファイルがありません” と表示されます。

静止画撮影時のご注意

操作について

- 不要な光がレンズに当たるときは、手でレンズを覆って撮影してください。

撮影時の画面について

- 被写体の明るさにより、液晶モニターの表示の反応が遅くなったり、ノイズが出たりすることがあります。
- 液晶モニターに表示される被写体の画像は、確認のための画像です。実際は、設定した撮影モード(35ページ)で撮影されます。

蛍光灯の部屋での撮影について

- 蛍光灯のごく微妙なちらつきにより、撮影画像の明るさや色合いが変わることがあります。

その他のご注意

- ISO感度を高い値に設定すると、ノイズ低減処理のために、撮影が終了するまでの時間が長くなります。その間は操作しないでください。
- CMOS撮像素子の原理上、撮影モードによっては、動きの速い被写体が歪むことがあります。

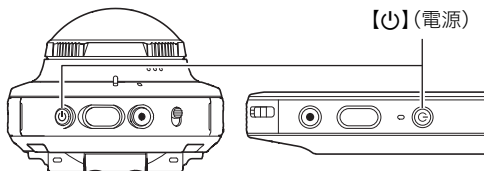
撮影する(応用)

本機では、液晶モニターをタッチして、撮影に関しての設定を変更することができます。

撮影項目を設定する

1. 【⏻】(電源)を押して電源を入れ、撮影モードにする

- 再生モードの場合は、【📷】(撮影)をタッチして、撮影モードに切り替えてください。

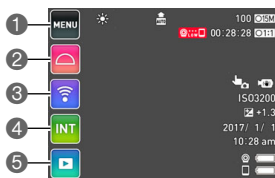


2. “□□□□□”(呼び出し)をタッチする

3. 設定したい項目をタッチする

- 1 メニュー(43ページ)※
- 2 撮影モード(35ページ)
- 3 無線モード(59ページ)
- 4 インターバル撮影モード(39ページ)
- 5 再生モード切替(25ページ)

※ 撮影モードによって使用できないメニュー項目があります。



撮影モードを設定して静止画を撮影する

本機には、目的に応じたさまざまな撮影モードがあります。


1. 撮影モードにして、“□□□□□”(呼び出し)をタッチする




2. 撮影モードアイコンをタッチする




3. 使用したい撮影モードのアイコンをタッチする

選んだ撮影モードに設定されます。

- “”をタッチすると、各モードの詳しい内容が表示されます。画面を上下にフリックして使いたいモードを表示させてから、アイコンをタッチしてください。

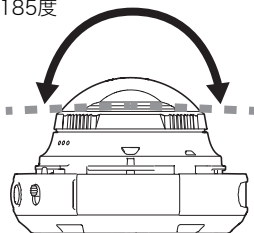
全天周 	全天周画像を撮影します(36ページ)。
パノラマ 	カメラを上向きにしてシャッターを押すと、360度のパノラマ画像が撮影されます(37ページ)。
超広角 	レンズに写っている景色の中央部分を4:3の比率でトリミングした映像を撮影します(38ページ)。

1回の撮影で約180度撮影する(全天周)

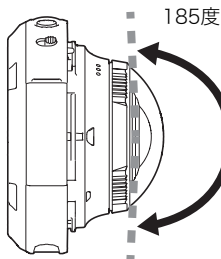
全天周画像を撮影します。撮影される画像のサイズは3888×3888 で、アスペクト比は1:1です。

上に向けると…

185度



前に向けると…



1. 撮影モードを“”(全天周)にする

2. シャッターを押す

静止画が撮影されます。

- 撮影モードが“全天周”のときは、コントローラーに表示される撮影範囲と実際に撮影される画像が異なります。

パノラマ画像を撮影する(パノラマ)

カメラを動かさずに、360度のパノラマ画像を撮影します。レンズの中心を基準にして、横に展開された画像が撮影されます。撮影される画像のサイズは7456×1864 [13M]です。



1. 撮影モードを“[13M]”(パノラマ)にする

2. カメラを上に向ける

画面には、パノラマ展開された映像が表示されます。

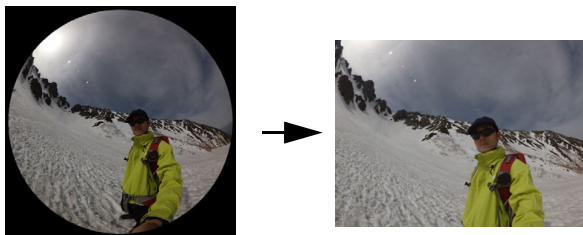
3. 画面をフリックして、画像の切れ目を調整する

4. シャッターを押す

静止画が撮影されます。

4.3の画像を撮影する(超広角)

レンズに写っている景色の中央部分を4:3の比率でトリミングした映像を撮影します。撮影される画像のサイズは3232×2424 [7M]です。



1. 撮影モードを“”(超広角)にする

2. シャッターを押す
静止画が撮影されます。

イベントなどの様子を定期的に撮影する(インターバル撮影)

指定した間隔ごとに、静止画や動画を自動で撮影できます。

シーン	撮影画面のアイコン表示	内容
スタンダード		一定の間隔で撮影を行います。
ハイキング		ハイキングに適した条件で撮影を行います。
サイクリング		サイクリングに適した条件で撮影を行います。
スノー&ウォーター		ウィンター&水上スポーツに適した条件で撮影を行います。
レジャー		レジャーや旅に適した条件で撮影を行います。


■ インターバル撮影を開始する

1. 撮影モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする


2. インターバル撮影モードアイコンをタッチする

インターバル撮影
モードアイコン





3. 用途に合ったシーンをタッチする

- ・  をタッチすると、各シーンの詳しい内容が表示されます。画面を上下にフリックして使いたいシーンを表示させてから、アイコンをタッチしてください。



4.  をタッチする

5. 設定項目をタッチして、設定を変更する

間隔	撮影する間隔を以下から選びます。 5秒、15秒、30秒、1分、2分
撮影パターン	  : 静止画が5枚撮影されたあと、5秒間の動画が1回撮影されます。*  のみ: 動画が5秒間撮影されます。*音声も録音されます。  のみ: 静止画が撮影されます。 ※ “間隔”を“5秒”に設定した場合、動画の撮影時間は2秒間になります。

6. “◀”をタッチする

7. “開始”をタッチする

撮影が開始されます。

- インターバル撮影で撮影を開始すると、カメラとコントローラーはスリープモードになり、撮影待機状態になります。このとき、動作確認ランプが緑色に点滅します。ただし、撮影間隔が5秒のときは、カメラはスリープモードになりません。
- スリープモードのときに、コントローラーのいずれかのボタンを押すと、スリープモードから復帰します。さらに、画面の“⏏”をタッチすると、撮影した枚数が画面に表示されます。なお、撮影は9999枚が上限となります。

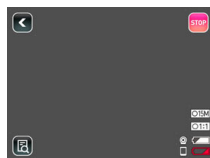


参考

- この機能で動画を撮影中は、カメラの設定に応じて手ブレを補正します。ただし、被写体ブレには効果がありません。
- カメラの電池が切れた場合は、インターバル撮影は終了します。コントローラーの電池が切れた場合は、撮影は継続します。撮影を終了する場合は、カメラの【⏏】(電源)を約2秒間押し続けてください。
- 手動で撮影しているときや、スリープモードから復帰しているときにインターバル撮影で撮影するタイミングになった場合は、そのタイミングでの撮影は行われず、次のタイミングで撮影されます。
- スリープモードから復帰しているときにコントローラーの【⏏】(電源)を押すと、スリープモードに戻り、インターバル撮影が再開します。
- 設定項目の初期値は、シーンごとに異なります。
- 設定項目を変更した場合は、電源を切ってもその値が保持されます。初期値に戻りたい場合は、“リセット”(95ページ)でカメラをリセットしてください。
- 撮影環境によっては、撮影間隔が長くなることがあります。

■ インターバル撮影を終了する

1. コントローラーのいずれかのボタンを押してスリープモードから復帰させる
2. “stop”をタッチする
3. “はい”をタッチする
インターバル撮影が終了します。



■ インターバル撮影中に手動で撮影する

インターバル撮影中でも、自分が撮りたいタイミングで静止画や動画を撮影できます。

1. コントローラーのいずれかのボタンを押してスリープモードから復帰させる
2. コントローラーまたはカメラを操作して撮影する

参考

- スリープモードのときでも、カメラのシャッターまたは【●】(ムービー)を押して静止画や動画を撮影できます。
- インターバル撮影中は、高速連写機能で撮影できません。
- 撮影レビュー(49ページ)を“タイプ1”に設定したときのみ、各撮影後に撮影した画像が表示されます。

動画を撮影する

ここでは、動画の撮影方法を説明します。

- 撮影モードが“超広角”の場合は、動画画質を変更できます。詳しくは44ページをご覧ください。

1. 【●】(ムービー)を押す

撮影が開始されます。

- 動画画質を“HS120”または“HS240”以外に設定した場合、撮影中は音声(ステレオ)も録音されません。
- 動画画質を“4K”または“FHD(60p)”に設定した場合、動画撮影中は画面に映像が表示されません。
- 撮影モードが“パノラマ”のときは、動画撮影中にコントローラーにはパノラマではなく、全天周の画像が表示されます。



2. 【●】(ムービー)を押して撮影を終了する

- 撮影可能な動画は、1ファイル最長29分間、または1ファイルが最大4GBまでです。それを超えると自動的に撮影は終了します。また、撮影中にメモリーがいっぱいになると、撮影は途中で終了します。

動画撮影時の手ブレ補正

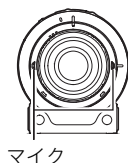
動画画質が“FHD(60p)”、“FHD(30p)”または“STD”のときに“動画手ブレ補正”(45ページ)を“標準”または“強”にすると、動画撮影時にブレ補正の機能が働きます。ただし、ブレ補正ができるのは手ブレだけで、被写体ブレには効果ありません。また、画角が狭くなります。動画手ブレ補正を“強”にすると、補正効果は強くなりますが、光源フリッカー(蛍光灯のちらつき)が横帯として写ります。

ハイスピード動画で撮影時のご注意

- ハイスピード動画撮影時は明るい環境で撮影してください。
- ハイスピード動画では光源フリッカー(ちらつき)が横帯として写ることがあります。

重要

- 動画を長時間撮影した場合、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。
- 動画画質が“HS120”または“HS240”以外のときは、音声も同時に記録されますので、次の点に注意してください。
 - 指などでマイクをふさがないようにください。
 - 録音の対象がカメラから遠くに離れると、きれいに録音されません。
- 高い気温など高温の環境で動画を長時間撮影した場合、撮影画像にノイズ(輝点)が入ることがあります。また、内部温度の上昇により動画撮影の途中で強制的に動画撮影が終了する場合があります。その場合は本機の温度が下がってから動画撮影するようにしてください。
- 内蔵メモリー使用時やメモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合があります。特に高品位の動画は正常に記録できない場合があります。また、使用するメモリーカードによっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。



よりよい撮影のための設定

本機では、メニューを操作してさまざまな設定ができます。

撮影メニューを使う

■ メニュー画面の操作例

1. 撮影モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. “MENU”をタッチする

メニュー画面が表示されます。

- メニューの内容は、撮影モードと再生モードで異なります。

3. 設定したい項目のタブをタッチする

4. 画面を上下にフリックして設定したい項目を表示させる

- “◀”をタッチまたはコントローラーのシャッターを押すと、メニュー操作を中断してメニューを消します。

5. 設定したい項目をタッチする

6. 画面の表示に従って内容を設定する

- “◀”をタッチすると、1つ前の階層に戻ります。

参考

- 撮影モードによっては、使用できないメニューがあります。その場合は、項目をタッチしても反応しません。

■ メニュー操作の本書記載について

本書ではメニュー操作の手順を下記のように記載します。記載の順に画面をタッチしてください。

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → タッチ撮影



画面をタッチして撮影する(タッチ撮影)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → タッチ撮影

“入”にすると、画面をタッチしたときも撮影できるようになります。







参考

- カメラが以下の設定のときは、タッチ撮影を使用できません。
 - “高速連写”が“PAST”(45ページ)に設定されているとき



動画の画質を設定する(動画画質)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 動画画質

撮影モードが“超広角”のときは、動画の画質と撮影方法を設定することができます。



動画画質	撮影速度 (フレーム レート)	画像サイズ (pixels)	説明
4K	30fps	3840×2160 	4K動画を撮影できます。アスペクト比は16:9で撮影されます。
FHD(60p)	60fps	1920×1080 	高精細な動画(フルハイビジョン動画)を撮影できます。アスペクト比は16:9で撮影されます。
FHD(30p)	30fps	1920×1080 	
HS120	120fps	1280×720 	ハイスピード動画を撮影できます。 • 音声は録音されません。
HS240	240fps	640×480 	
STD	30fps	640×480 	標準的な動画を撮影するときに選びます。アスペクト比が4:3で撮影されます。

- 撮影モードが“超広角”以外の場合は、以下の画質で撮影されます。

撮影モード	動画画質	撮影速度	動画サイズ
全天周	1:1	30fps	1440×1440 
パノラマ	パノラマ	30fps	2880×720 

動画撮影時の手ブレを軽減する(動画手ブレ補正)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 動画手ブレ補正

 (標準) または  (強) にすると、動画撮影時の手ブレを軽減できます。ただし、被写体ブレには効果がありません。また、画角が狭くなります。

この機能は、動画画質が以下のときに設定できます。

FHD (60p)、FHD (30p)、STD

何枚も連続して撮影する(高速連写)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 高速連写

連続して撮影できます。


1. 使用したい項目をタッチする

設定項目	内容
30fps	1秒間に30枚の速度で撮影されます。
PAST	1秒間に30枚の速度で、シャッターを押す前に15枚、押したあとに15枚撮影されます。
切	高速連写を行いません。

- “30fps”を選んだ場合は、手順3に進んでください。
- “PAST”を選んだ場合は、手順2に進んでください。

2. “Pre REC”をタッチする



シャッターを押すまで、画像を一時的に記録します。

- 画像の一時的な記録をやめるには、“”をタッチしてください。

3. シャッターを押す

連続で30枚撮影されます。

参考

- 高速連写で撮影したときの画像サイズは以下のとおりです。
 - 全天周: 1936 × 1936 
 - パノラマ: 3480 × 960 
 - 超広角: 1600 × 1200 

明るさを補正する(明るさ)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 明るさ

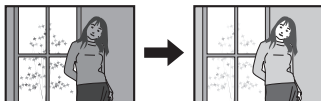
撮影時の明るさに応じて、露出値(EV値)を手動で補正することができます。次に露出補正を変えるまで、設定した露出補正值で撮影できます。

- 露出補正值: -2.0EV~+2.0EV
 - 補正単位: 1/3EV
- 露出補正值を元に戻したいときは、“0.0”に設定してください。

- 方向に補正。黒い物の撮影や晴天の野外などの撮影に向きます。



+ 方向に補正。白い物の撮影や逆光での撮影に向きます。



参考

- 明るすぎたり、暗すぎたりするときは、露出補正ができない場合があります。











色合いを調整する(ホワイトバランス)


操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → ホワイトバランス

曇りの日に写真を撮ると被写体が青っぽく写る、または白色蛍光灯の光で撮ると被写体が緑がかった写るなどの現象を防ぎ、光源に合わせて被写体を自然な色合いで撮影できるように調整します。

1. 設定したい撮影条件をタッチする

タッチした撮影条件を、液晶モニターで確認できます。

設定項目	設定内容
 オートWB	自動的にホワイトバランスを調整
 太陽光	晴天時の野外での撮影用
 曇天	薄雲～雨天の野外や木陰などの撮影用
 日陰	晴天時のビルや木陰などの撮影用
 昼白色	白色・昼白色蛍光灯下での色かぶりを抑えた撮影用
 昼光色	昼光色蛍光灯下での色かぶりを抑えた撮影用
 電球	電球の雰囲気や消した撮影用
 マニュアルWB	さまざまな光源下で適正な色に手動で調整することができます。 ①  マニュアルWB”をタッチする ② 撮影場所で画面全体に白い紙を写す ③ アイコンが表示されていない部分をタッチする  設定したホワイトバランスは電源を切っても保持されます。

- “ オートWB”では、被写体の中から白色点を自動的に判断します。被写体の色や光源の状況によってはカメラが白色点の判断に迷い、適切なホワイトバランスに調整されないことがあります。この場合は、太陽光、曇天などの撮影条件を指定してください。

ISO感度を変える(ISO感度)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → ISO感度

ISO感度とは、光に対する感度を表したものです。

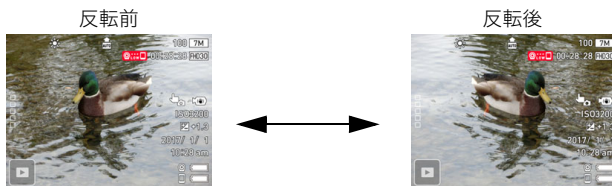
設定項目	設定内容		
オート	撮影条件により自動調整します。		
ISO 80	感度が低い ↓ ↑ 感度高い	シャッター速度が遅い	なめらかに撮れる (ノイズが減る)
ISO 100		↑ ↓	↑ ↓
ISO 200			
ISO 400			
ISO 800			
ISO 1600		シャッター速度が速い (暗い場所での撮影向き)	多少ざらつく (ノイズが増える)
ISO 3200			

- ISO感度を高い値に設定すると、ノイズ低減処理のために、撮影が終了するまでの時間が長くなります。その間は操作しないでください。
- 動画撮影時は、“オート”に固定されます。

自分撮りをする(鏡面反転)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 鏡面反転

“入”にすると、コントローラーに表示される映像が左右反転します。コントローラーで構図を確認しながら自分撮りをするときに便利です。なお、記録される画像は鏡面反転しません。



参考

- 左右にフリックして画像を反転することもできます。
- 撮影モードが“パノラマ”のときは画像を鏡面反転できません。

動画撮影時の風の音を低減する(風音低減)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 風音低減

動画撮影時に録音される風の音を低減したいときは“入”にしてください。ただし、音質が多少変化します。

撮影直後の画像を表示する(撮影レビュー)

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → 撮影レビュー

撮影直後の画像が表示されます。

タイプ1	撮影した画像が、液晶モニターの全面に約1秒間表示されます。
タイプ2	撮影した画像が、コントローラーを横向きにしたときは液晶モニターの左下、縦向きにしたときは左上に表示されます。撮影した画像をタッチすると、再生モードに切り替わり、撮影した画像が全面に表示されます。
切	撮影した画像は表示されません。

参考

- 高速連写中は、“タイプ1”を選んでも、“タイプ2”で撮影レビューが表示されます。

常に全天周の静止画も保存する(ダブル保存(全天周))

操作手順: 撮影モードにする → MENU →  REC MENUタブ → ダブル保存(全天周)

撮影モードを“全天周”以外のモードで静止画を撮影したときに、設定した撮影モードの静止画と一緒に“全天周”の静止画が保存されます。

入	設定した撮影モードの静止画と一緒に“全天周”の画像も保存されます。
切	設定した撮影モードの静止画のみが保存されます。

参考

- “入”に設定しても、高速連写で撮影したときおよび動画撮影では、全天周の静止画は保存されません。

静止画や動画を再生する

撮影した静止画を見る

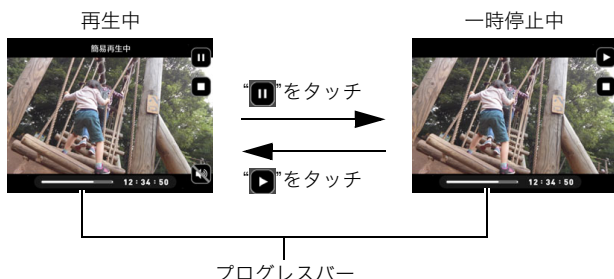
操作方法については32ページを参照してください。

撮影した動画を見る

1. “◻” (再生) をタッチして、再生モードにする
2. 画面を左右にフリックして、再生したい動画 (ムービー) を表示させる



3. “▶” (動画再生) をタッチして、再生を始める
 - アイコン以外の画面をタッチすると、アイコンや撮影情報を消して画像のみを表示できます。再度画面をタッチすると、表示が元に戻ります。
 - “◻” をタッチすると、音声は鳴らなくなります。




参考

- このカメラで撮影した動画以外は、再生できない場合があります。
- 動画を本機で再生すると、カメラのスピーカーから音声再生されます。再生される音声と映像に差が生じますが、記録された動画ファイル自体には問題はありません。また、映像については、低フレームレートで簡易再生されます。動画を鑑賞する場合は、動画をスマートフォンに送信してご覧いただくことをおすすめします。

撮影したパノラマの静止画を見る

1. 再生モードにして、画面を左右にフリックして再生したいパノラマの静止画を表示させる

2. “” (パノラマ再生) をタッチして、パノラマ静止画を再生する

パノラマ画像が、左にスクロールして再生されます。


- アイコン以外の画面をタッチすると、アイコンや撮影情報を消して画像のみを表示できます。再度画面をタッチすると、表示が元に戻ります。

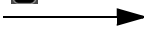



再生中



現在表示している位置

“” をタッチ



“” をタッチ

一時停止中






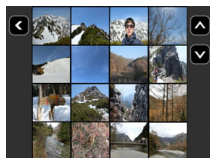
画像を一覧表示する

複数の画像を一度に表示できます。

1. 再生モードにして、“”をタッチする、または2本の指でタッチしながら狭める

画像が一覧表示されます。

- “”“”をタッチ、または画面を上下にフリックすると、前後の画像を表示します。
- 通常表示(1枚表示)で見たいときは、見たい画像をタッチしてください。
- 動画は先頭の画像が表示されます。
- 連写画像やインターバル撮影した画像は、撮影ごとにまとまって表示されます。2枚目以降の画像を見たい場合は、見たい画像をタッチして通常表示に切り替えてから、左右に画面をフリックして画像を切り替えてください。
- パノラマ画像には“”が表示されます。
- 再生できない画像には“?”が表示されることがあります。




画像を拡大して表示する

静止画を2倍まで拡大して表示できます。

1. 再生モードにして、画面を左右にフリックして再生したい画像を表示させる

2. 画面中央をタッチ、または2本の指でタッチしながら指を広げる(18ページ)

画像が拡大表示されます。

- 画面をフリックして、拡大表示される位置を変えることができます。
- “”をタッチする、または2本の指でタッチしながら指を狭めると、縮小表示されます(18ページ)。


参考

- パノラマ画像の場合は、画面の中央をタッチしても拡大できません。画面を2本の指でタッチしながら指を広げると拡大できます。

タイムラプス動画を作成する(タイムラプス)


静止画を撮影した順につなぎ合わせて、最長で10分間のタイムラプス動画を作成します。

1. 再生モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. “”(タイムラプス)アイコンをタッチする


3. タイムラプス動画に変換する画像の選択方法を選びます。



日付選択	撮影日ごとにタイムラプス動画にします。
インターバル選択	インターバル撮影(39ページ)した画像ごとにタイムラプス動画にします。

4. “”をタッチする

5. 項目をタッチして設定を変更する

再生速度	画像1枚あたりの再生時間を選びます。“低速”にすると、1枚あたりの再生時間が長くなり、“高速”にすると、1枚あたりの再生時間が短くなります。
音楽	BGMを選びます。
作成サイズ	タイムラプス動画の画質を選びます。 FHD(30p): 高精細な動画(アスペクト比は16:9)が作成されます。 STD: 標準的な画質の動画(アスペクト比は4:3)が作成されず。

6. 設定が完了したら、“”(戻る)をタッチして手順4の画面に戻る

7. “”“”でタイムラプス動画にしたい画像の撮影日またはインターバル撮影を表示してタッチする

8. “はい”をタッチする

タイムラプス動画が作成・表示されます。

- ・タイムラプス動画を作成中に“キャンセル”をタッチすると、タイムラプス動画の作成が中止されます。

- 使用する静止画と作成するタイムラプス動画のアスペクト比が異なる場合は、画像に黒い帯が付きまます。
- 画像の枚数が多い場合は、タイムラプス動画が10分になったところでこの機能が終了し、それ以降の画像はタイムラプス動画に変換されません。
- 以下の画像は、タイムラプス動画に含まれません。
 - “ダブル保存(全天周)”で保存された全天周の画像
 - “画像展開”で作成された画像
- 作成時の条件によって、タイムラプス動画の作成に時間がかかる場合があります。

再生時のその他の機能(再生機能)

ここでは再生モードで操作や設定ができるメニュー項目について説明します。

再生メニューを使う

■ メニュー画面の操作例

1. 再生モードにして、“□□□□”(呼び出し)をタッチする

2. “MENU”をタッチする

メニュー画面が表示されます。

- メニューの内容は、撮影モードと再生モードで異なります。

3. 設定したい項目のタブをタッチする

4. 設定したい項目をタッチする

5. 画面の表示に従って内容を設定する

- “◀”をタッチすると、1つ前の階層に戻ります。



■ メニュー操作の本書記載について

本書ではメニュー操作の手順を下記のように記載します。記載の順にアイコンをタッチしてください。

操作手順: 再生モードにする → MENU → 回転表示

画像を回転させる(回転表示)

操作手順: 再生モードにする → MENU → 回転表示

1. 画面を左右にフリックして、回転したい画像を表示させる

2. “◻”をタッチする

“◻”をタッチすることにより、90° 左回りに回転します。

3. 希望の表示状態になったら“◀”をタッチする

参考

- 画像データそのものが回転するわけではありません。液晶モニターでの表示のしかたを変えているだけです。
- パノラマ画像を回転することはできません。

全天周の静止画を加工する(画像展開)





操作手順: 再生モードにする → MENU → 画像展開


“全天周”または“全天球”で撮影した静止画をトリミングしたり、パノラマ画像などに変換できます。

1. 画面を左右にフリックして、加工したい全天周または全天球の静止画を表示する

2. 加工したいサイズのアイコンをタッチする

選んだサイズに加工された画像が表示されます。

	画像の中心を基準にして、4:3のサイズに切り抜きます。
	画像の中心を基準にして、16:9のサイズに切り抜きます。
	パノラマ画像に変換します。 <ul style="list-style-type: none">以下の操作で画角を調整できます。 左右にフリック: 画像の分割位置を変更します。 

3. “”をタッチする

加工した画像が新しい画像として保存されます。

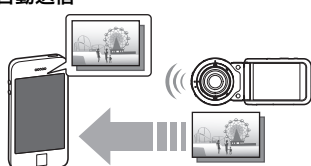
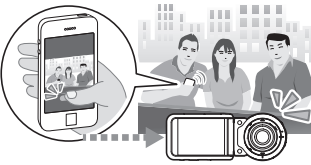
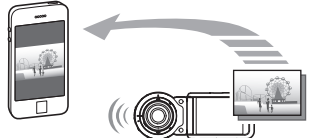
カメラとスマートフォンを接続する(無線接続)


スマートフォンでできること

本機はBluetooth無線技術での接続機能と無線LAN接続機能の2つを搭載しています。本機とスマートフォンを無線で接続すると、次のことができます。操作には、スマートフォンに専用アプリEXILIM Connectをインストールする必要があります。

- 本機はBluetooth® Smart機器です。
- 本機とBluetooth Smart対応のスマートフォンをBluetooth無線技術で接続することができます。なお、カメラとスマートフォンを接続するBluetooth無線技術は、カメラとコントローラーを接続するBluetooth無線技術とは異なる技術となります。



できること	内容
自動送信  A diagram showing a smartphone on the left and a camera on the right. A large arrow points from the camera to the smartphone. Above the camera, a smaller image of a smartphone screen shows a photo of a tree, with a smaller version of the same photo being sent to the main smartphone.	Bluetoothでペアリング済みのスマートフォンに、撮影画像を自動で送信できます(66ページ)。
スマートフォンで撮影  A diagram showing a hand holding a smartphone on the left. A dashed line connects the phone to a camera on the right. In the background, three people are sitting at a table, and a cityscape is visible.	スマートフォンを使用して、離れたところからカメラを操作して撮影できます(63ページ)。
スマートフォンへ送る  A diagram showing a camera on the left and a smartphone on the right. A large arrow points from the camera to the smartphone. Above the camera, a smaller image of a smartphone screen shows a photo of a tree, with a smaller version of the same photo being sent to the main smartphone.	カメラで撮影した静止画や動画を選んで、スマートフォンに送信できます。また、画像送信後にスマートフォンからSNSに送ることもできます(64ページ)。

できること	内容
<p>スマートフォンから見る</p> 	<p>カメラに保存されている静止画をスマートフォンで見たり、静止画や動画をスマートフォンにコピーして見るができます(65ページ)。</p>

重要

- 航空機内など無線通信の使用が制限または禁止されている場所では、本機を使用しないでください。
- スマートフォンの機種によっては、受け取った動画をスマートフォンで再生できないことがあります。
- カメラがスマートフォンと接続中の場合は、カメラ本体のシャッターや【●】(ムービー)を押しても撮影できません。
- スマートフォン、OSのバージョン、ストレージの空き状況によって、動画や静止画がスマートフォンに保存されないことがあります。スマートフォンで画像を受信したあとは、スマートフォンで保存されていることを確認してください。
- Android™端末で受け取った動画について
 - “ギャラリー”アプリには動画は表示されません。動画はEXILIM Connectフォルダーに保存されます。
 - 再生には、動画(4Kおよび拡張子がMOVの動画ファイル)が再生できる動画プレーヤーが別途必要です。
 - お使いの動画プレーヤーによっては、動画が再生できなかったり、音声が出ないことがあります。
- 本機以外で撮影された画像の場合は、送信できないことがあります。

参考

- 無線機能を使用すると、通常よりも消費電力が大きくなります。電池が十分に残っている状態で使用してください。
- 操作可能範囲は、通信環境や接続するスマートフォンの機種によって変わります。

■ EXILIM Connectについて


専用アプリEXILIM Connectの詳しい情報については、EXILIM Connectの取扱説明書(下記のWebサイトからダウンロードすることができます)を参照ください。

<http://www.exilim.com/manual/>

- EXILIM Connectの取扱説明書をダウンロードする場合は、最初に言語(Japanese/日本語)を選択してください。
- EXILIM Connectの取扱説明書(PDF版)を見るためにはAdobe Reader をインストールする必要があります。取扱説明書を見るができない場合は、「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

無線モードについて

本機にはさまざまな無線モードがあります。必要に応じて選んでください。

1. “□□□□”（呼び出し）をタッチする
2. 無線モードアイコン“”をタッチする
無線モード画面が表示されます。
3. 使用したい無線モードをタッチする
 - 無線モードを終了するには、“<”をタッチします。



スマートフォンへ送る

カメラで撮影した画像をスマートフォンで見るときに選びます(64, 65ページ)。

ペアリング

本機とスマートフォンをBluetooth無線技術で接続するときを選びます(61ページ)。

スマートフォンで撮影

スマートフォンでリモート撮影するときを選びます(63ページ)。

無線設定

無線接続の設定をするときを選びます(66ページ)。

スマートフォンをカメラに接続するための準備

スマートフォンに専用アプリEXILIM Connectをインストールすると、スマートフォンをカメラのリモコンとして使ったり、撮影した画像をスマートフォンに転送できます。専用アプリEXILIM Connectは、Google Play™またはApp StoreでEXILIM Connectを検索して、スマートフォンにインストールしてください。

専用アプリEXILIM Connectが対応しているOS (AndroidまたはiOS)のバージョンは、Google PlayおよびApp Storeのダウンロードサイト、またはカシオデジタルカメラオフィシャルWebサイト (<http://casio.jp/dc/>) で確認してください。

■ アプリの動作保証について

EXILIM Connect(アプリ)は、すべてのスマートフォンまたはタブレットで動作を保証するものではありません。

重要

- アプリの機能および動作環境は、予告なしで変更される場合があります。

スマートフォンにEXILIM Connectをインストールする

■ Android端末の場合

1. “Playストア”(Google Play)を開く

2. 検索フィールドに“EXILIM Connect”と入力する

3. “EXILIM Connect”をインストールする

■ iPhone(iOS)の場合

1. “App Store”を開く

2. 検索フィールドに“EXILIM Connect”と入力する

3. “EXILIM Connect”をインストールする

最初に無線接続設定をする

初めてスマートフォンをカメラに無線で接続するときは、無線接続設定が必要になります。この操作は初回のみ必要になります。

■ Bluetooth Smart対応のスマートフォンの場合

本機とスマートフォンをBluetooth無線技術で接続すること（ペアリング）により、簡単に無線接続設定を行うことができます。

重要

- この操作を行うと、スマートフォンの無線LANの接続設定（62ページ）は自動的に行われます。
- ペアリングは、1台のスマートフォンとしかできません。
- スマートフォンの機種によっては、動作しない場合があります。
- すでにペアリングしている状態で再度ペアリングをすると、一度ペアリングを解除してから、ペアリングし直します。このとき未送信の画像は送信されなくなります。



カメラ(コントローラー)の操作

1. 無線モードアイコンをタッチする

無線モード画面が表示されます。

2. “ペアリング”をタッチする

3. “開始”をタッチする

- コントローラーを使わずにカメラを操作してペアリングを開始することもできます。
 - ①カメラの【】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切る
 - ②カメラの【】(電源)を約6秒間押し続ける
カメラの動作確認ランプがオレンジ色に点滅します。

スマートフォンの操作

4. “EXILIM Connect”を起動する

5. “カメラとペアリングする”をタップする

6. アプリおよびスマートフォンの指示に従って、接続作業を行う

- カメラとスマートフォンをBluetooth無線技術で接続します。
- EXILIM Connectの無線接続設定操作については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。

参考

- カメラとスマートフォンの無線接続設定が完了すると、“自動送信”(66ページ)が“入”になります。
- 本機の電源を切ると、Bluetooth無線技術による接続が終了します。

Bluetooth Smart非対応のスマートフォンの場合

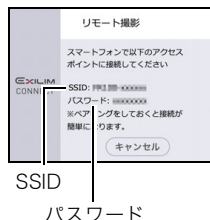
スマートフォンの無線LANの接続設定(カメラのSSIDとパスワードの入力)を行います。

1. 無線モードアイコンをタッチする

2. “スマートフォンで撮影”をタッチする

3. “開始”をタッチする

スマートフォンから接続できる状態になり、SSIDとパスワードが表示され、カメラの無線LAN接続確認ランプが青色に点滅します。



4. スマートフォンのWi-Fi設定でカメラのSSIDとパスワードを入力して、カメラとスマートフォンを無線LANで接続する

スマートフォンがカメラに無線LANで接続された状態になると、カメラの無線LAN接続確認ランプが青色に点灯し、コントローラーの液晶モニターに“スマートフォンのアプリを起動してください”というメッセージが表示されます。




- 無線LANで接続するための設定方法は、スマートフォンによって異なります。無線LAN(Wi-Fi)の接続方法については、スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。
- カメラのSSID(変更不可)とパスワード(初期値)は以下のとおりです。

SSID:FR200-XXXXXX(6桁の英数字)

パスワード:00000000

5. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する

参考

- 以下の手順でカメラとスマートフォンを無線LANで接続することもできます。
 - カメラの【】(電源)を約2秒間押し続けて電源を切る
 - カメラの【】(ムービー)を押したまま【】(電源)を約1秒間押し続ける
カメラの無線LAN接続確認ランプが青色に点滅します。
 - スマートフォンで、カメラのSSIDを選ぶ

スマートフォンとカメラが無線LANで接続できないときは

すでに下記の無線LANと接続している可能性があります。スマートフォンのWi-Fi設定で、カメラのSSIDを選んでください。




- 家庭内の無線LAN
- 公衆無線LAN
- 携帯型無線LAN機器

スマートフォンをカメラのリモコンとして使う (スマートフォンで撮影)

スマートフォンを使用して、離れたところからカメラを操作して撮影(リモート撮影)できます。

■ Bluetooth無線技術で接続中の場合

1. 以下のどちらかの状態にする

- スリープモードにする
 - ①カメラとコントローラーの電源を入れる
 - ②コントローラーの【】(電源)を押すカメラがスリープモードになり、カメラの動作確認ランプが緑色でゆっくり点滅します。
- 無線モード画面を表示する
 - ①“” (呼び出し) をタッチする
 - ②無線モードアイコン“” をタッチする

2. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する

3. スマートフォンで“リモートで撮影する”をタップする

4. スマートフォンで撮影範囲を確認しながら撮影する

“スマートフォンで撮影”の詳しい使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。

■ Bluetooth無線技術で接続できない場合

1. 無線モードアイコン“”をタッチする

2. “スマートフォンで撮影”をタッチする

3. “開始”をタッチする

- ・ スマートフォンとカメラが無線LANで接続中の場合は、手順5へ進んでください。

4. スマートフォンのWi-Fi設定で、カメラに表示されているSSIDを選び、カメラとスマートフォンを無線LANで接続する

5. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する


6. スマートフォンで撮影範囲を確認しながら撮影する

“スマートフォンで撮影”の詳しい使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。

- USB-ACアダプターでカメラを充電しているときにカメラの電源を入れると、カメラの充電が停止して、USB-ACアダプターから給電されます。ただし、この状態でスマートフォンを使って動画を撮影すると、USB-ACアダプターからの給電も止まり、カメラの電池が消費します。カメラの電池が十分に残っている状態で撮影してください。

カメラで撮影した画像を選んでスマートフォンに送る (選択して送る)

カメラで撮影した静止画や動画を選んでスマートフォンに送信できます。一度に送信できるファイルは50枚、または合計容量が500MBまでです。また、画像送信後にSNSに送ることもできます。




1. 無線モードアイコンをタッチする
2. “スマートフォンへ送る”をタッチする
3. “選択して送る”をタッチする
4. スマートフォンに送りたい画像をタッチする
選んだ画像にチェックマークが付きます。
 - スマートフォンに画像を送るのをやめるには、“キャンセル”をタッチしてください。
5. スマートフォンに送りたい画像をすべて選んだら、“OK”をタッチする
以降、“選択して送る”の使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。

カメラで撮影した画像をスマートフォンで見る (スマートフォンから見る)

カメラに保存されている静止画をスマートフォンで見たり、静止画や動画をスマートフォンにコピーして見ることができます。

■ Bluetooth無線技術で接続中の場合

1. 以下のどちらかの状態にする

- スリープモードにする
 - ①カメラとコントローラーの電源を入れる
 - ②コントローラーの【】(電源)を押すカメラがスリープモードになり、カメラの動作確認ランプが緑色でゆっくり点滅します。
- 無線モード画面を表示する
 - ①“” (呼び出し) をタッチする
 - ②無線モードアイコン“” をタッチする

2. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する

3. スマートフォンで“カメラ内の画像を見る”をタップする

カメラが無線モードで起動して、カメラに保存されている画像の一覧が表示されます。

“カメラ内の画像を見る”の詳細な使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。

■ Bluetooth無線技術で接続できない場合

1. 無線モードアイコン“”をタッチする

2. “スマートフォンへ送る”をタッチする

3. “スマートフォンから見る”をタッチする

- ・ スマートフォンとカメラが無線LANで接続中の場合は、手順5へ進んでください。

4. スマートフォンのWi-Fi設定で、カメラに表示されているSSIDを選び、カメラとスマートフォンを無線LANで接続する

5. スマートフォンで“EXILIM Connect”を起動する

カメラが無線モードで起動して、カメラに保存されている画像の一覧が表示されます。

“スマートフォンから見る”の詳細な使用方法については、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。

無線接続の設定をする

ここでは、無線モードでの操作や設定できる項目について説明します。

1. 無線モードアイコン“”をタッチする

無線モード画面が表示されます。

- シャッターを押すと、無線モード画面を表示する前の状態に戻ります。

2. “無線設定”をタッチする

無線設定画面が表示されます。

3. 設定したい項目をタッチする

4. 選んだ項目の設定を変更する

- 設定を変更すると、無線モード画面に戻ります。

撮影した画像をスマートフォンに自動で送信する(自動送信)

操作手順: 無線モードアイコン“” → 無線設定 → 自動送信

“入”にして撮影すると、ペアリングしているスマートフォンに画像が自動で送信されます。画像は、カメラがスリープモードになっているときにスマートフォンに送信されます。スマートフォンと無線で接続していない場合は、スマートフォンと接続できない、画像が送信されません。

- 画像を送信中は、カメラの無線LAN接続確認ランプが点滅または点灯します。画像の送信が終了すると、ランプが消灯します。

重要


- 自動送信は、カメラとスマートフォンがペアリング(61ページ)していないと“入”に設定できません。





参考



- 自動送信できるのは、Bluetooth Smart対応のスマートフォンだけです。また、カメラの画像が自動送信されるには、Bluetoothと無線LANの両方が接続されている必要があります。
- 送信する静止画の画像サイズは、“送信時サイズ”(67ページ)で設定できます。
- スマートフォンで受け取った画像は以下で確認できます。
 - iPhone: “写真”アプリの“カメラロール”
 - Android端末: “ギャラリー”、“フォト”などの写真閲覧アプリ
- 自動送信を“入”にして撮影した画像は、自動送信を“切”に設定してもスマートフォンに送信されます。
- インターバル撮影中に撮影した画像は、インターバル撮影が終了したあとにまとめてスマートフォンに送られます。

- 未送信の画像が残った状態でカメラとスマートフォンの接続が切れた場合は送信が中断しますが、再びカメラとスマートフォンを接続後にカメラがスリープモードになったら送信が再開します。
- スマートフォンに送信されていない画像を消去すると、自動送信は行われません。

自動送信で送信する画像を選ぶ(自動送信ファイル設定)

操作手順: 無線モードアイコン“” → 無線設定 → 自動送信ファイル設定
自動送信機能でスマートフォンに送信する画像の種類を指定します。

 INT	静止画、動画およびインターバル撮影で撮影した画像*が送られます。
	静止画と動画が送られます。
 INT	静止画とインターバル撮影で撮影した画像*が送られます。
 のみ	静止画のみが送られます。

※インターバル撮影を終了後に、撮影した画像の中から自動で10~20枚選ばれて、スマートフォンに送られます。インターバル撮影の撮影スタイルが“ ”の場合は、動画は最大で2ファイルが送られます。

重要

- 自動送信機能で送信できる動画の1ファイルサイズは100MBまでです。
- 自動送信ファイル設定は、カメラとスマートフォンがペアリング(61ページ)していないと設定できません。

静止画をリサイズしてスマートフォンに送信する(送信時リサイズ)

操作手順: 無線モードアイコン“” → 無線設定 → 送信時リサイズ

“スマートフォンで撮影”で直前に撮影した画像をスマートフォンに送信する、または“スマートフォンへ送る”を使用して画像を送信するときにリサイズできます。リサイズされる画像は、以下の条件で撮影した静止画のみです。下記以外の条件で撮影した画像は、撮影時のサイズでスマートフォンに送られます。


- 撮影モード(38ページ):超広角
- 高速連写(45ページ):切

3M	3Mにリサイズされて送信されます。 • 3M以下の画像の場合は、撮影時のサイズで送信されます。
切	撮影時の画像サイズで送信されます。

参考



- 本機以外のカメラで撮影された画像はリサイズされません。

無線LAN接続時のカメラのパスワードを変更する (無線LANパスワード)

操作手順: 無線モードアイコン“” → 無線設定 → 無線LANパスワード
カメラにスマートフォンを無線LANで接続するとき使用するパスワードを変更できます。

重要


- 無線LANパスワードの変更は、ペアリングを解除してから行ってください(68ページ)。

- 変更したい値をタッチする
- “”“”をタッチして値を変更する
- 設定が完了したら、“OK”をタッチする

参考

- 無線LANパスワードを変更すると、スマートフォンとの接続が解除されますので、再度無線接続設定を行ってください(61ページ)。なお、Bluetooth Smart非対応のスマートフォンの場合は、下記のように操作して、スマートフォンのWi-Fi設定も変更してください。
 - iPhone:
Wi-Fiの設定のカメラのSSIDを表示している欄の右矢印をタップし、ネットワークの設定を削除してください。削除後、再びカメラのSSIDを選択して、新しいパスワードを入力してください。
 - Android端末:
Wi-Fiの設定のカメラのSSIDを表示している欄をタッチし、いったん切断を選択してください。再びカメラのSSIDを選択して、新しいパスワードを入力してください。

ペアリングを解除する(ペアリング解除)

操作手順: 無線モードアイコン“” → 無線設定 → ペアリング解除
ペアリングを解除します。
本機を他のスマートフォンに接続する場合は、ペアリングを解除してください。

参考

- ペアリングを解除するときは、スマートフォンでもペアリングを解除する操作を行ってください。詳しくは、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。
- ペアリングを解除すると、未送信の画像は送信されなくなります。

2台のカメラを使う(マルチカメラモード)

2台のカメラを使ってできること

カメラをもう1台追加し、コントローラーで2台のカメラを操作できます。2台のカメラで同時に撮影や再生をしたり、それぞれのカメラで個別に撮影や再生ができます。

できること	内容
2台のカメラで同時に撮影 	1台のカメラを自分に向け、もう1台のカメラを周辺の風景に向けて設置して、楽しんでいる自分とそのときの風景を同時に撮影するなど、さまざまな撮影ができます。
2台のカメラで別々に撮影 	2つの視点を切り替えながらお好みのタイミングで撮影できます。
インターバル撮影 	2台のカメラを使って、一定の撮影間隔で静止画や動画を自動で撮影できます。
2台のカメラで再生 	2台のカメラで撮影した静止画や動画を、同時に再生できます。

★ 重要

- 追加で利用できるカメラは、以下のとおりです。
 - 別売のデジタルカメラEX-FR100CA/EX-FR200CA
 - EX-FR100*/EX-FR200*/EX-FR110Hのカメラ部
- ※カメラを最新のファームウェアにバージョンアップしてください。

追加するカメラの準備をする

もう1台のカメラをお使いになる前に、以下の準備を行ってください。


1. 電池を充電する(19ページ)
2. メモリーカードを準備する(27ページ)

カメラをコントローラーに登録する

もう1台のカメラを追加して使う場合は、追加するカメラをコントローラーに登録する必要があります。

■ カメラをコントローラーに登録する

1. 追加するカメラにメモリーカードが入っている場合は、メモリーカードを抜く

2. メニュー画面の“セットアップ”タブをタッチする

3. “マルチカメラ登録”をタッチする

4. “追加”をタッチする


5. “開始”をタッチする

カメラの登録を開始します。



6. 登録したいカメラのシャッターを押しながら、**[ON]**(電源)を6秒以上押し続ける動作確認ランプがオレンジ色に点滅して、カメラの登録が始まります。
カメラの登録に成功すると、メッセージが表示された後にマルチ表示画面が表示されます。

参考

- カメラは2台まで登録できます。新たにカメラを追加したい場合は、登録済みのカメラの登録を解除してください。
- カメラの登録に失敗した場合はメッセージが表示され、“セットアップ”タブをタッチする前の画面に戻ります。その場合は、もう一度手順1から操作してカメラを登録してください。
- 以下の手順でカメラをコントローラーに登録することもできます。
 - ①カメラからメモリーカードを抜く
 - ②カメラのシャッターを押しのまま**[ON]**(電源)を6秒以上押し続ける
 - ③コントローラーのシャッターを押しのまま**[ON]**(電源)を6秒以上押し続ける
カメラとコントローラーの動作確認ランプがともにオレンジ色に点滅して、カメラの登録を開始します。

■ カメラの登録を解除する

1. コントローラーと1台のカメラの電源を入れる

コントローラーと電源を入れたカメラが接続されます。

2. メニュー画面の“セットアップ”タブをタッチする


3. “マルチカメラ登録”をタッチする

4. “解除”をタッチする

コントローラーに登録されているカメラ名が、登録された順番に表示されます。

5. 登録を解除したいカメラ名をタッチする

6. “はい”をタッチする

選んだカメラの登録が解除され“セットアップ”タブをタッチする前の画面に戻ります。

選んだカメラがコントローラーに接続中の場合はメッセージが表示されますので、“はい”をタッチすると、登録が解除されます。

参考

- コントローラーに2台のカメラを接続している(マルチカメラモード)ときは、カメラの登録を解除できません。この場合は、どちらかのカメラの電源を切ってコントローラーとの接続を解除してから、カメラの登録を解除してください。

■ メインカメラを登録する(優先接続)

コントローラーにカメラが2台登録されている場合は、コントローラーの電源を入れると、片方のカメラから順番に接続を試みます。以下の手順で、先に接続するカメラ(メインカメラ)を選択できます。

1. メニュー画面の“セットアップ”タブをタッチする


2. “マルチカメラ登録”をタッチする

3. “優先接続”をタッチする



コントローラーに登録されているカメラ名が、登録された順番に表示されます。

4. メインカメラとして登録したいカメラ名をタッチする

5. “はい”をタッチする

選んだカメラがメインカメラとして登録され、“セットアップ”タブをタッチする前の画面に戻ります。

マルチカメラモードについて

コントローラーに2台のカメラを登録すると、画面に“”が表示されます。“”をタッチすると2台目のカメラとの接続を開始します。


コントローラーが2台のカメラと接続するとマルチカメラモードになり、コントローラーで2台のカメラを操作できます。先に接続したカメラを“カメラ1”、後に接続したカメラを“カメラ2”として使用します。

マルチ表示画面	シングル表示画面
 <p>2台のカメラの撮影画面または再生画面を左右に分けて同時に表示します。左側がカメラ1、右側がカメラ2の画面となります。</p>	 <p>カメラ1またはカメラ2の撮影画面または再生画面を全体に表示します。</p>



参考

- マルチカメラモードを使う場合は、2台のカメラの電源を入れる必要があります。電源が入っていないカメラは、コントローラーとの接続ができません。
- 後に接続したカメラの日時設定は、先に接続したカメラの日時設定に合わせた設定となります。
- 縦表示の場合、マルチ表示画面は上下に分けて表示されます。

マルチ表示画面にするには

シングル表示画面の“”（マルチ表示アイコン）をタッチします。

シングル表示画面にするには

マルチ表示画面の“”または“”（シングル表示アイコン）をタッチします。タッチしたカメラのシングル表示画面が表示されます。

■ マルチカメラモードを終了する

1台のカメラのみを使用したい場合は、マルチカメラモードを終了してください。

1. 画面の“EXIT”をタッチする

2. 1台で使用したい方のカメラの画面をタッチする

マルチカメラモードが終了し、選んだカメラの画面が表示されます。

使用しないカメラとコントローラーの接続は解除されます。

参考

- マルチカメラモード中にカメラの電源を切ると、電源を切ったカメラとコントローラーの接続が解除され、マルチカメラモードを終了します。コントローラーには電源が入っているカメラの画面が表示されます。
- マルチカメラモード中にカメラをパソコンとUSB接続すると(82ページ)、USB接続したカメラとコントローラーの接続が解除され、マルチカメラモードを終了します。コントローラーにはUSB接続をしていないカメラの画面が表示されます。

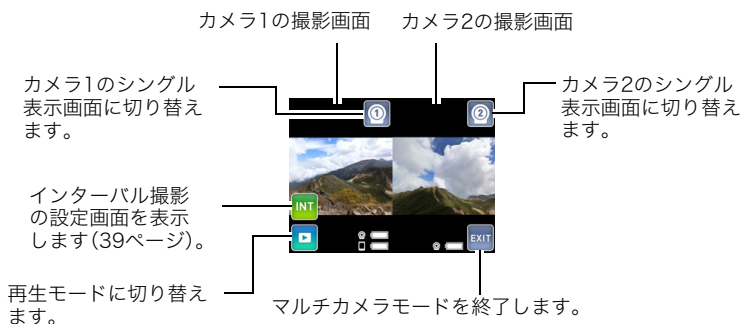
マルチカメラモードで撮影する

ここではマルチ表示画面、シングル表示画面での主な撮影方法を説明します。
詳しい撮影方法については、「静止画を撮影する」(30ページ)をご覧ください。

- マルチカメラモードで撮影時は、撮影メニューにある以下の機能の設定が無効になります。
タッチ撮影(44ページ)、鏡面反転(48ページ)

マルチ表示画面で撮影する

2台のカメラの画面を左右(縦表示の場合は上下)に分けて表示し、2台のカメラで同時に撮影したり、個別に撮影できます。



■ 2台のカメラで同時に撮影する

マルチ表示画面で2台のカメラの撮影画面を表示しながら、同時に撮影できます。

静止画を撮影するには

1. コントローラーのシャッターを押す

2台のカメラで同時に静止画が撮影されます。

動画を撮影するには

1. コントローラーの【●】(ムービー)を押す

2台のカメラで同時に動画撮影を開始します。
再度【●】(ムービー)を押すと、撮影を終了します。

参考

- どちらかのカメラが動画撮影中の場合は、2台のカメラで同時に撮影することはできません。

■ 各カメラで個別に撮影する

マルチ表示画面で2台のカメラの撮影画面を表示しながら、各カメラで個別に撮影できます。

静止画を撮影するには

1. カメラ1またはカメラ2のシャッターを押す

シャッターを押したカメラで静止画が撮影されます。

動画を撮影するには

1. カメラ1またはカメラ2の【●】(ムービー)を押す

【●】(ムービー)を押したカメラで動画撮影を開始します。

再度【●】(ムービー)を押すと、撮影を終了します。

■ 2台のカメラでインターバル撮影をする

2台のカメラを使って、インターバル撮影ができます。

1. “”をタッチする

インターバル撮影の設定画面が表示されます。

2. インターバル撮影の設定を行い、“開始”をタッチする







2台のカメラが同じ設定で、同時に撮影を開始します。

- インターバル撮影については、39ページをご覧ください。

参考

- 1台のカメラが撮影できなくなった場合は、インターバル撮影を終了します。
- メモリーカードの種類や使用状況によっては、2台のカメラの撮影タイミングがずれることがあります。同時に撮影されるようにするためには、2台のカメラに同じ種類のメモリーカードを、撮影前にフォーマットしてから使用することをおすすめします。

■ マルチ表示画面の操作について

- マルチ表示画面ではカメラの撮影モードは設定できません。カメラの撮影モードを設定する場合は、“”または“”をタッチして設定したいカメラのシングル表示画面を表示させ、撮影モードアイコンをタッチします。撮影モードについては35ページをご覧ください。“”をタッチするとマルチ表示画面に戻ります。
- マルチ表示画面では動画の画質設定など、撮影メニュー項目は設定できません。撮影メニュー項目を設定する場合は、“”または“”をタッチして設定をしたいカメラのシングル表示画面を表示させ、“MENU”をタッチします。撮影メニューについては43ページをご覧ください。“”をタッチするとマルチ表示画面に戻ります。

シングル表示画面で撮影する

シングル表示画面では、カメラ1またはカメラ2の撮影画面を表示しながら、各カメラで個別に撮影できます。



■ シングル表示画面(カメラ1またはカメラ2)を切り替える

1. “”または“”をタッチする

タッチすることにより、カメラ1とカメラ2の画面を切り替えます。

■ 静止画を撮影するには

1. コントローラーのシャッターを押す

画面に表示されているカメラで静止画が撮影されます。


参考

- カメラ1またはカメラ2のシャッターを押して静止画を撮影することもできます。



■ 動画を撮影するには

1. コントローラーの【】(ムービー)を押す

画面に表示されているカメラで動画が撮影されます。

再度【】(ムービー)を押すと、撮影を終了します。

参考

- カメラ1またはカメラ2の【】(ムービー)を押して動画を撮影することもできます。再度【】(ムービー)を押すと、撮影を終了します。

■ シングル表示画面の操作について

- カメラ1またはカメラ2のシングル表示画面で行ったメニュー画面、撮影モード画面、無線モード画面での設定は、マルチ表示画面に戻ったときやマルチカメラモード終了後も維持されます。
- シングル表示画面では、撮影レビュー(49ページ)は“切”に固定されます。
- シングル表示画面では、高速連写(45ページ)を“PAST”に設定することはできません。

■ “全天球”撮影モードについて

本機にEX-FR200CAまたはもう1台のEX-FR200のカメラを接続してマルチ表示画面にしているときは、全天球画像を撮影できます。全天球画像を撮影する場合は、両方のカメラの撮影モードを“全天球”に設定してください。

- 撮影した全天球画像を本機のコントローラーで見ると、全天周画像として表示されません。パソコン用ソフトウェアEXILIM 360 Viewerを使うと、撮影した画像が全天球画像として表示されます。EXILIM 360 Viewerについては、91ページをご覧ください。

マルチカメラモードで静止画や動画を再生する

ここではマルチ表示画面、シングル表示画面での主な再生方法を説明します。
詳しい再生方法については、「静止画や動画を再生する」(50ページ)をご覧ください。




マルチ表示画面での操作

2台のカメラの再生画面を左右(縦表示の場合は上下)に分けて表示し、2台のカメラの静止画を見たり、2台のカメラの動画を同時に再生できます。






■ 撮影した静止画を見る

2台のカメラの静止画を同時にスクロールする

1. 画面に「」が表示されているときに、画面を左右にフリックする
画面に「」が表示されているときは、タッチして「」に切り替えてください。

どちらかのカメラの画像のみをスクロールする

1. 画面に「」が表示されているときに、カメラ1またはカメラ2の画面を左右にフリックする
画面に「」が表示されているときは、タッチして「」に切り替えてください。

■ 2台のカメラで撮影した動画またはパノラマの静止画を同時に再生する

1. カメラ1またはカメラ2の画面で、再生したい動画またはパノラマの静止画を表示させる

カメラ1とカメラ2の再生画面に動画またはパノラマの静止画を表示させると、マルチ表示画面の中心に“◀▶”（動画再生）または“🔄”（パノラマ再生）が表示されます。

2. “▶”（動画再生）または“🔄”（パノラマ再生）をタッチする

両方の動画またはパノラマの静止画が同時に再生されます。

参考

- マルチ表示画面では個別に動画またはパノラマの静止画を再生することはできません。

■ マルチ表示画面の操作について

- 再生モード時にコントローラーのシャッターまたは【●】（ムービー）を押すと、2台のカメラが同時に撮影モードに切り替わります。
- 再生モード時にカメラのシャッターまたは【●】（ムービー）を押すと、シャッターまたは【●】（ムービー）を押したカメラが撮影を開始し、撮影を開始したカメラ側のシングル表示画面（撮影モード）に切り替わります。
- 静止画の情報を確認する場合は、“①”または“②”をタッチして表示したいカメラのシングル表示画面を表示します。“③”をタッチするとマルチ表示画面に戻ります。

シングル表示画面での操作

シングル表示画面では、カメラ1またはカメラ2の静止画を見たり、動画を再生できます。

カメラ1またはカメラ2の再生画面



マルチ表示画面に切り替えます。

シングル表示画面で表示するカメラを切り替えます。

画像を一覧表示します(52ページ)。

マルチカメラモードを終了します。

シングル表示画面(カメラ1またはカメラ2)を切り替える

1. “”または“”をタッチする

タッチすることにより、カメラ1とカメラ2の画面を切り替えます。

■ シングル表示画面の操作について

- 再生モード時にコントローラーのシャッターまたは【●】(ムービー)を押すと、画面は撮影モードに切り替わります。
- 再生モード時にカメラのシャッターまたは【●】(ムービー)を押すと、シャッターまたは【●】(ムービー)を押したカメラが撮影を開始します。コントローラーの画面に表示されているカメラで撮影を開始した場合は、画面は撮影モードに切り替わります。
- シングル表示画面での再生操作は、シングルカメラモードと同じです。

プリント(印刷)する

お店で プリントする

画像が入ったメモリーカードを、**プリントサービスのお店**に持参してプリントします。



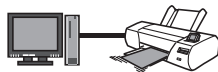
プリンターで プリントする

プリンターのスロットにメモリーカードを直接セットしてプリントできます。詳しくは、プリンターに付属の説明書に従って操作してください。



パソコンを使って プリントする

画像をパソコンに取り込んだ後、市販のプリントソフトを使ってプリントします。



パソコンを使って印刷する

パソコンに保存した画像を印刷する方法はさまざまですが、ここでは、一般的な印刷方法を説明します。

■ Windowsの場合

1. 「画像をパソコンに保存する／パソコンで見る」(83ページ)に従って、画像をパソコンに保存して、印刷したい画像を表示する

2. “印刷”→“印刷”の順でクリックする

3. 印刷内容を設定して、印刷する
印刷内容を設定し、“印刷”をクリックしてください。

■ Macintoshの場合

1. 「画像をパソコンに保存する／パソコンで見る」(87ページ)に従って、画像をパソコンに保存して、印刷したい画像を表示する



2. “ファイル”→“プリント”の順でクリックする

3. 印刷内容を設定して、“プリント”をクリックする
選択した画像が印刷されます。

パソコンを利用する

パソコンを使ってできること

カメラをパソコンに接続して、次のことができます。

パソコンに画像を保存して見る		<ul style="list-style-type: none">• 手動でパソコンに保存して見ることができません(USB接続)(83, 87ページ)。
動画を再生・編集する		<ul style="list-style-type: none">• 動画を再生することができます(86, 88ページ)。• 動画を編集する場合は、必要に応じて、市販のソフトをご利用ください。

操作のしかたは、Windowsパソコンの場合とMacintoshの場合で異なります。

- Windowsパソコンの場合→「Windowsパソコンを利用する」(82ページ)
- Macintoshの場合→「Macintoshを利用する」(86ページ)

Windowsパソコンを利用する

使用目的	OSのバージョン	必要なソフト
パソコンに手動で画像を保存して表示	Windows 10/ Windows 8.1/ Windows 7/ Windows Vista	インストールする必要はありません。
動画の再生	Windows 10/ Windows 8.1/	Windows Media Player 12
	Windows 7/ Windows Vista	4Kおよび拡張子がMOVの動画ファイルを再生できるソフトウェア

- 上記の環境は、動作を保証するものではありません。
- お使いのパソコンの性能、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する／パソコンで見る

カメラをパソコンに接続して、画像（静止画や動画などのファイル）をパソコンに保存したり、パソコンで見ることができます。

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。

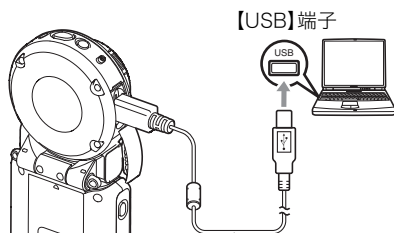
参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. 【**⏻**】（電源）を約2秒間押し続けてカメラの電源を切り、付属のマイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- カメラとの詳しい接続方法、接続時の注意などについては、22ページをご覧ください。



マイクロUSBケーブル(付属品)

2. カメラの【**⏻**】（電源）を押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認ランプが赤点灯から緑点灯またはオレンジ点灯に切り替わりますので、確認してください(22ページ)。なお、液晶モニターは点灯しません。

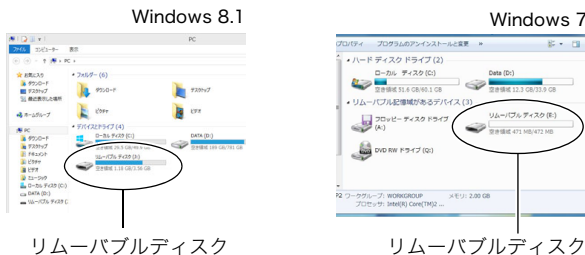
- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

3. Windows 10: “スタート”→“エクスプローラー”の順でクリックし、サイドバーにある“PC”をクリックする
 Windows 8.1: “デスクトップ”→“エクスプローラー”の順でクリックする
 Windows 7/Windows Vista: “スタート”→“コンピューター”の順でクリックする



4. “リムーバブルディスク”をダブルクリックする

- メモリーカードまたは内蔵メモリーは、「リムーバブルディスク」として認識されています。



5. “DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックする



6. メニューの“コピー”をクリックする

7. Windows 10/Windows 8.1:“ドキュメント”をクリックする
Windows 7/Windows Vista:“スタート”→“ドキュメント”の順でクリックする

- すでに“DCIM”フォルダーが保存されている場合は、上書きされてしまいます。すでに保存されている“DCIM”フォルダーの名前を変えるなどしてからコピーしてください。

8. Windows 10/Windows 8.1:“ドキュメント”メニューで、“ホーム”→“貼り付け”の順でクリックする

Windows 7/Windows Vista:“ドキュメント”メニューで、“整理”または“編集”→“貼り付け”の順でクリックする

“DCIM”フォルダー(画像ファイルが保存されているフォルダー)が“ドキュメント”フォルダーにコピーされ、画像も一緒にパソコンに保存されます。

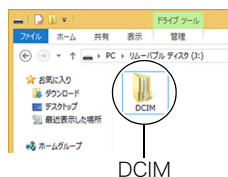
- コピーが完了したら、“DCIM”フォルダーを右ボタンでクリックし、フォルダーの名前を変更することをおすすめします。

9. コピーが終了したらカメラをパソコンから外す

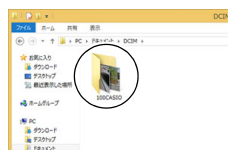
パソコンのモニター上に表示されるコピーや読み込みの進行中の表示が終了してから、表示している画像を閉じ、USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. コピーした“DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く



2. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く



3. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(90ページ)を参照ください。
- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。
- 連写およびインターバル撮影のグループをパソコンで見た場合、個別の画像で表示されます。グループ単位では表示されません。



■ 動画再生のご注意

- パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。
ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのパソコンの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は以下をお試しください。
 - 開いている他のソフトウェアを閉じたり、常駐ソフトを止める。

Macintoshを利用する

使用目的	OSのバージョン	必要なソフト
パソコンに手動で画像を保存して表示	OS X	インストールする必要はありません。
パソコンに自動的に画像を保存／画像の管理	OS X	一部のMac製品本体に付属の「写真」または「iPhoto」
動画の再生	OS X 10.5以降	QuickTime Player (パソコンにインストール済み)

- 上記の環境は、動作を保証するものではありません。
- お使いのパソコンの性能、設定状態やインストールされているソフトウェアによっては、正しく動作しない場合があります。

画像をパソコンに保存する/パソコンで見る

内蔵メモリーやメモリーカード内の画像に対して、パソコンで修正・削除・移動・名前の変更などを行わないでください。

画像管理データと整合性がとれず、カメラで再生できなくなったり、撮影枚数が極端に変わったりします。修正・削除・移動・名前の変更などはパソコンに保存した画像で行ってください。

重要

- 画像を見たり保存している途中でケーブルを抜いたり、カメラの操作を行わないでください。データが破壊される恐れがあります。
- Mac OS Xの10.0～10.4ではご使用できません。10.5～10.11のみで使用できます(OS標準のUSBドライバーを使用)。

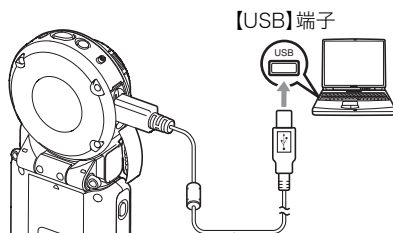
参考

- 市販のカードリーダーやパソコンのカードスロットで、直接メモリーカードから画像を取り込むこともできます。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

■ カメラとパソコンを接続してファイルを保存する

1. 【**U**】(電源)を約2秒間押し続けてカメラの電源を切り、付属のマイクロUSBケーブルでカメラとパソコンのUSB端子を接続する

- カメラとの詳しい接続方法、接続時の注意などについては、21ページをご覧ください。



マイクロUSBケーブル(付属品)

2. カメラの【**U**】(電源)を押して、カメラの電源を入れる

カメラの電源が入ると、カメラの動作確認ランプが赤点灯から緑点灯またはオレンジ点灯に切り替わりますので、確認してください(22ページ)。

パソコンは、カメラ内のメモリーカードまたは内蔵メモリーを「ドライブ」として認識します。Mac OSのバージョンにより、表示されるアイコンが異なる場合があります。

- 初めてカメラをパソコンにUSBケーブルで接続したとき、パソコンにエラーメッセージが表示されることがあります。その場合はUSBケーブルを一度抜き差ししてください。

3. 表示されたドライブをダブルクリックする

4. “DCIM”フォルダーをデスクトップにドラッグアンドドロップして、画像をパソコンにコピーする



5. コピーが終了したらドライブを“取り出し”または“ゴミ箱”へドラッグアンドドロップする

6. カメラをパソコンから外す

パソコンのモニター上に表示されるコピーや読み込みの進行中の表示が終了してから、表示している画像を閉じ、USBケーブルを外してください。

■ パソコンに保存した画像を見る

1. 表示されたドライブをダブルクリックする

2. “DCIM”フォルダーをダブルクリックして、フォルダーを開く

3. 見たい画像が入ったフォルダーをダブルクリックして開く

4. 見たい画像ファイルをダブルクリックして画像を表示させる

- ファイル名については「メモリー内のフォルダー構造」(90ページ)を参照ください。
- カメラ内で回転表示させた画像をパソコンで見た場合は、回転させる前の画像が表示されます。

■ 動画再生時のご注意

- パソコンに動画データを保存してから、その画像ファイルをダブルクリックして再生してください。
ネットワーク上やメモリーカードなどにある動画データを再生しても、正しく再生できない場合があります。
- お使いのMacintoshの性能によっては、正しく動作しない場合があります。その場合は、以下をお試しください。
 - 実行中の他のソフトウェアを終了する

ファイルとフォルダーについて

本機では、撮影した静止画などのひとつひとつが個別のデータとして記録されます。個別のデータのことを「ファイル」と呼びます。各ファイルは、「フォルダー」と呼ばれるまとまりにグループ分けされます。ファイル、フォルダーには、区別のための名前が自動的に付きます。

- フォルダー構造の詳細は、「メモリー内のフォルダー構造」(90ページ)をご覧ください。

	名前と最大作成数	例
ファイル	"CIMG0001"から"CIMG9999"までで、最大9999個のファイルが1つのフォルダーに作成されます。拡張子は記録したファイルの形式によって異なります。	26番目に記録した ファイル名: CIMG0026.JPG 連番(4桁) 拡張子
フォルダー	"100CASIO"から"999CASIO"までで、最大900のフォルダーが作成されます。	連番100のフォルダー名: 100CASIO 連番(3桁)

- フォルダー名、ファイル名は、パソコンで見ることができます。カメラの液晶モニターでの表示については、10ページをご覧ください。
- 保存できるフォルダー数、ファイル数は、サイズや画質、メモリーカードの容量によって異なります。

メモリー内のデータについて

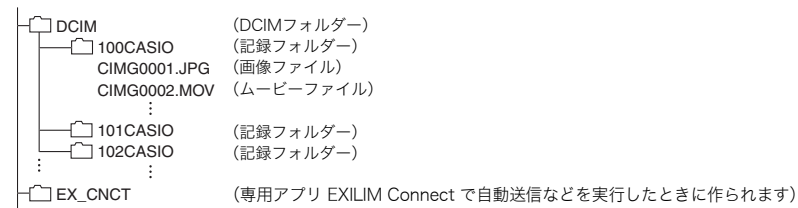
本機で撮影された画像は、DCF (Design rule for Camera File system) 規格に準拠した方法でメモリーへ保存されます。

■ DCF規格について

- 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のカメラで見ることができます。
 - 本機で撮影した画像をDCF規格対応の他社のプリンターで印刷することができます。
 - DCF規格対応の他社のカメラの画像を本機で見ることができます。
- ただし、上記項目の動作はすべて保証するものではありません。

■ メモリー内のフォルダー構造

メモリー



■ このカメラで扱える画像ファイル

- 本機で撮影した画像ファイル
- DCF規格に対応している画像ファイル

DCF規格の画像ファイルでも、使用できない機能がある場合があります。また、本機以外で撮影された画像の場合、再生にかかる時間が長くなる場合があります。

■ パソコン上で内蔵メモリー／メモリーカードを扱うときのご注意

- メモリーの内容をパソコンに保存する際は「DCIM」フォルダーごと保存してください。その際「DCIM」フォルダーの名前を年月日などに変えておくと、あとで整理するときに便利です。ただし、パソコンに保存したファイルをカメラに戻す場合は、フォルダー名をパソコン上で「DCIM」に戻しておいてください。本機では「DCIM」以外の名前のフォルダーは認識されません。「DCIM」フォルダー内の他のフォルダー名を変えた場合も同様です。
- フォルダーやファイルをカメラで正しく認識させるためには、メモリー内のフォルダー構造が90ページのフォルダー構造のとおりである必要があります。

さらにお楽しみいただくために

EX-FR200およびEX-FR200CA専用のパソコン用ソフトウェアEXILIM 360 Viewerをお使いいただくと、次のことができます。

- 撮影モードを“全天周”や“全天球”に設定して撮影した静止画や動画を、色々な視点から全天周画像／全天球画像として見ることができます。
- 静止画や動画の簡単な編集や保存ができます。
- SNSに静止画や動画を送ることができます。

EXILIM 360 Viewerは、以下に記載したカシオサポートページの“ソフトウェアダウンロード”よりダウンロードしてインストールしてください。

<http://casio.jp/support/dc/>

- 撮影モードを“全天球”に設定して撮影するためには、もう1台のカメラ(別売のEX-FR200のカメラ部またはEX-FR200CA)が必要です。

その他の設定について

ここでは撮影モードと再生モードのどちらでも操作や設定ができるメニュー項目について説明します。

メニューの操作については、43ページをご覧ください。

液晶モニターの明るさを変える(液晶設定)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → 液晶設定

液晶モニターの明るさを切り替えることができます。

+2	“+1”に比べてさらに液晶が明るくなり、見やすくなります。反面、消費電力が大きくなります。
+1	屋外などの明るい場所で使用する場合の設定です。“0”に比べて液晶が明るくなり、見やすくなります。
0	屋内などの明るすぎない場所で使用する場合の設定です。
-1	周囲へのマナーに配慮したり、暗い場所で使用する場合の設定です。
-2	“-1”に比べてさらに液晶が暗くなります。暗い場所でも液晶が見やすくなります。

液晶モニターに表示される内容を選ぶ(情報表示)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → 情報表示

“入”にすると、設定内容の情報などが画面に表示されます。

カメラやコントローラーの画面の向きを固定する(回転ロック)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → 回転ロック

カメラが写す画像やコントローラーに表示される向きを固定、またはカメラやコントローラーの向きを判別して正しい向きで表示できます。

カメラ	切	撮影時にカメラの向きを判別して、向きの情報も画像に保存します。再生時には、向きの情報に応じて表示されます。
	ロック	撮影時にカメラの向きを判別せず、常に横向き画像として保存します。
コントローラー	切	コントローラーの向きに合わせて画面が回転します。
	ロック	“ロック”にしたときのコントローラーの向きに、画面の表示方向が固定されます。



参考

- 再生環境によっては、正しい向きに画像が表示されないことがあります。

カメラの音を設定する(カメラ音)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → カメラ音

電源を入れたときや撮影時、およびエラーが起こったときなどの音の大きさが調節できます。

	大きい
	小さい

- 設定に関わらず、インターバル撮影中は、撮影音は鳴りません。

バイブレーション機能を使う(バイブレーション)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → バイブレーション

“入”にすると、以下のときにコントローラーが振動します。

- 撮影直後、コントローラーの画面に“タイプ1”で撮影レビューが表示されたとき
- カメラとコントローラーの通信が切断したとき
- エラーが起こったとき

カメラの日時を設定し直す(日時設定)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → 日時設定

日時を変更できます。

1. 変更したい値(年、月、日、時、分)をタッチする

2. “▲”“▼”をタッチして、日時を合わせる

- 入力できる日付は、2001年～2049年です。
- 12時間/24時間表示を切り替えるには、時間表示切替アイコンをタッチします。
- “▲”“▼”をタッチし続けると、早送りできます。



時間表示切替

3. “OK”をタッチする

参考

- 専用アプリEXILIM Connectに接続して、EXILIM Connectでカメラの日時を設定することにより、カメラのタイムゾーンをスマートフォンのタイムゾーンに合わせて切り替えることができます。詳しくは、EXILIM Connectの取扱説明書をご覧ください(58ページ)。

日付の表示の並びを変える(表示スタイル)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → 表示スタイル

画面に表示される日付の表示スタイルを3つの中から選ぶことができます。

例) 2017年7月10日

年/月/日	17/7/10
日/月/年	10/7/17
月/日/年	7/10/17

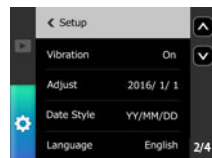
表示言語を切り替える(Language)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → Language

画面のメッセージの言語を設定します。

■ 画面が外国語表示になってしまったとき

1. 画面を上下にフリックして“日本語”を表示させ、タッチする



コントローラーがスリープモードになるまでの時間を変える(スリープ)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → スリープ

コントローラーの画面の表示が消えてスリープモードになるまでの時間を設定します。設定時間は“30秒”、“1分”または“5分”から選ぶことができます。

メモリーをフォーマットする(フォーマット)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → フォーマット

カメラにメモリーカードが入っている場合はメモリーカードを、メモリーカードが入っていない場合は内蔵メモリーをフォーマットできます。

- フォーマットすると、メモリーの内容がすべて消去され、元に戻すことはできません。本当にフォーマットしてもよいかどうかをよく確かめてから行ってください。
- 内蔵メモリーやメモリーカードをフォーマットした場合、フォーマットしたメモリー内のプロテクトされた画像も同時に消去されます。
- フォーマットするときは、電池残量が十分であることを確認してください。フォーマット中に電源が切れると、正しくフォーマットされず、カメラが正常に動作しなくなる恐れがあります。

各種設定を購入直後の設定に戻す(リセット)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → リセット

購入直後の設定(初期値)については、111ページを参照ください。

下記の項目は、リセットしても初期値に戻りません。

日時設定、表示スタイル、Language、無線LANパスワード

参考

- リセットしても、ペアリングは解除されません(61ページ)。

カメラのファームウェアのバージョンを確認する(バージョン情報)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → バージョン情報

カメラの機種名、カメラに搭載されているファームウェアのバージョンを表示します。

- カメラのファームウェアをバージョンアップしたあとは、この画面をご確認ください。

2台目のカメラを登録する(マルチカメラモード)

操作手順: MENU → ⚙️ セットアップタブ → マルチカメラ登録

コントローラーにカメラをもう1台接続できます。詳しくは69ページをご覧ください。

耐衝撃性能、防水／防塵性能について

本製品は、耐衝撃性能、防水／防塵性能を備えています。

● 耐衝撃性能：

MIL-Standard 810F Method 516.5-Shockを参考に策定した当社独自規格による試験※1をクリアしています。※2

- ※1 カメラ、コントローラー合体およびカメラ、コントローラー各々単体において、1.3mの高さから合板(ラワン材)への10方向(6面、4稜)の落下試験
- ※2 衝撃については日常生活における使用での耐衝撃性を想定していますので、投げつけたり、無理な落とし方をするなど、故意に極度な衝撃を与えた場合は壊れる場合がありますのでご注意ください。また、本機の性能に異常がなくても落下衝撃にてキズ等が発生します。

● 防水性能：

JIS／IEC防水保護等級8級(IPX8)※3および6級(IPX6)に相当します。水深1.5mの水中で60分間の連続使用※4ができるほか、あらゆる方向からの水の直接噴流にも耐えられます。※5※6※7

- ※3 当社の定める指定時間および指定圧力の水中で使用可能なことを意味しています。なお、水中ではタッチパネルの操作はできません。
- ※4 当社の定める試験条件によります。
- ※5 モーターボートや水上バイクなど、水上を高速で移動するような場面では使用できません。
- ※6 水中での撮影時は、レンズの特性上、画質が低下しますが故障ではありません。
- ※7 水と空気の性質上、画角が狭くなります。

● 防塵性能：

JIS／IEC防塵保護等級6級(IP6X)に相当します。

重要

- ・ 本製品の耐衝撃性能、防水／防塵性能は、当社試験方法によるもので、無破損・無故障・性能を保証するものではありません。

■ 水中で使用する前のご注意

本機は水深1.5mまでの環境で水中撮影を行うことができますが、以下の点に注意してお使いください。

- ・ 水中や水滴がかかる場所で撮影すると、撮影中や次の撮影時にレンズ部が曇る場合があります。そのようなときは、撮影前にカバー類を開けた状態で本機を市販のシリカゲルと一緒にビニール袋に入れ、製品内部を除湿すると曇りにくくすることができます。
- ・ 【CARD】カバーや【USB】カバーのパッキンとその接触面にゴミ、砂等の異物が付着していないことを確認し、異物が付着している場合は清潔で乾燥した柔らかい布で取り除いてください。たとえ髪の毛1本、砂粒1個など小さなものが挟まっただけでも漏水することがあります。
- ・ 【CARD】カバーや【USB】カバーの防水パッキンにひび割れ、キズ等がないことを確認してください。
- ・ 【CARD】カバーや【USB】カバーは、しっかり閉じてください。
- ・ 水辺や潮風のあたる場所での【CARD】カバーや【USB】カバーの開け閉め、および濡れた手で開け閉めは避けてください。撮影時にレンズ部が曇る原因となります。

- 本機は水中に沈みますので、ストラップを装着するなどして、落とさないようにしてください。
- 本機の防水機能は、海水と真水にのみ対応しています。温泉では使えません。
- 本機を低温下、または40°C以上の高温になる場所(特に強い太陽光の当たるところ、炎天下の自動車内など)に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。
- 水中では無線LAN、Bluetooth無線技術での無線通信は使用できません。カメラだけを水中に入れた場合も、水上のコントローラーやスマートフォンには接続できません。
- 水中ではコントローラーのタッチパネルは使用できません。

■ 水中で使用中的ご注意

- 水深1.5m以内、水温0°Cから40°Cの範囲内の場所で使用してください。
- 水中で60分を超えての連続使用はしないでください。
- 連続して水中で使用した後は、防水用特殊シートの性能を維持するため、15分程度間を空けてから使用してください。
- 水中での【CARD】カバーや【USB】カバーの開け閉めはしないでください。
- 本機を持ったまま水中に飛び込まないでください。また、急流や滝など、激しく水のかかる場所で使用しないでください。強い水圧がかかり、漏水や故障の原因になることがあります。
- 本機を故意に水中に落としたり、水面にたたきつけたりしないでください。漏水することがあります。

■ 水中で使用後のご注意

- 【CARD】カバーや【USB】カバーは、本機について水滴や汚れを清潔で乾燥した柔らかい布で十分に拭き取った後、開いてください。
- 【CARD】カバーや【USB】カバーを開いたとき、カバーの内側表面に水滴がつくことがあります。水滴がついているときは、必ず拭き取ってからご使用ください。水滴が残っていると撮影時にレンズ部が曇る原因となります。

■ 使用後のお手入れについて

砂や泥がついたり、水中で使用した後は、【CARD】カバーや【USB】カバーをしっかりと閉めた状態で、以下の手順に従って本機を水洗いしてください。

1. 真水に浸して洗う

- バケツなどに水道水などの真水を入れ、その中に本機を10分程さらし、ゴミ、泥、砂などが良く落ちるように本機を軽くゆすりながら洗います。
- 汚れたままのレンズ面、液晶モニターは、こすらないでください。



2. 水気を拭き取る

- 清潔で乾燥した柔らかい布で本機の水気を拭き取ってください。水気を拭き取り終えたら、【CARD】カバーと【USB】カバーに水分が残っている場合がありますので、カバーを開けたまま風通しの良い日陰で完全に乾燥させてください。水分が残った状態でカバーを閉めると、撮影時にレンズ部が曇る原因となります。

重要

- 水洗いは30℃以下の水道水で洗ってください。水漏れや故障の原因となりますので洗剤や熱湯、強い水流で洗わないでください。
- 本機を振り回して水切りしたり、ドライヤーなどで強制的に乾燥させないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

■ 使用後のご注意

- 高温(40℃以上)や低温(-10℃未満)の場所に放置しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 洗浄、防錆、防曇等の目的で薬品類は使用しないでください。防水性能を保てない場合があります。
- 水中で使用後は、真水にさらしていない状態で60分以上放置しないでください。本機の外観不良、防水性能劣化の原因となります。
- 防水性能を維持するために、1年に一度防水パッキンの交換をお勧めします(防水パッキンの交換は有料になります)。防水パッキンの交換につきましては、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ その他のご注意

- 本製品の付属品のUSBアダプターとマイクロUSBケーブルは、防水性能はありません。
- 本機に極度な衝撃が加わると、防水性能を保てない場合があります。
- 寒冷地では本機に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。
- 取り扱い上の不注意により、万一、水漏れ事故を起こした場合、内部機材(充電池、記録メディアなど)の損害、記録内容、および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦願います。
- デジタルカメラの水没事故は、当社では一切その責任を負いかねます。
- 水中使用時の事故(人身事故など)の補償はいたしかねます。

使用上のご注意

■ データエラーのご注意

本機は精密な電子部品で構成されており、以下のお取り扱いをすると内部のデータが破壊される恐れがあります。

- カメラの動作中にメモリーカードを抜いた
- カメラの電源を切ったときに動作確認ランプが緑色に点灯している状態でメモリーカードを抜いた
- 通信中にUSBケーブルが外れた
- その他の異常操作

このような場合、画面にメッセージが表示される場合があります(115ページ)。メッセージに対応した処置をしてください。

■ 使用環境について

- 使用可能温度範囲: -10~40°C
- 使用可能湿度範囲: 10~85% (結露しないこと)
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たる場所、湿気やホコリ、砂の多い場所
 - 冷暖房装置の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所
 - 日中の車内、振動の多い場所

■ 結露について

- 真冬に寒い屋外から暖房された室内に移動するなど、急激に温度差の大きい場所へ移動すると、本機の内部や外部に水滴が付き(結露)、故障の原因となります。結露を防ぐには、本機をビニール袋で密封しておき、移動後に本機を周囲の温度に十分慣らしてから取り出して、数時間放置してください。
- 暖かい部屋や湿度の高いところでカメラのカバー類の開け閉めを行うと、製品内部に暖かい空気や湿度の高い空気がこもり、撮影時にレンズ部が曇る場合があります。そのようなときは、撮影前にカバー類を開けた状態で本機を市販のシリカゲルと一緒にビニール袋に入れ、製品内部を除湿すると曇りにくくすることができます。

■ カバーレンズについて

- 本機のカバーレンズはレンズの保護およびカメラの防水/防塵性能を保つためのものですので、取り外さないでください。

■ レンズについて

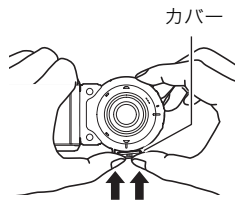
- レンズ面は強くこすったりしないでください。レンズ面に傷が付いたり、故障の原因となります。

■ カメラのお手入れについて

- ・ レンズ面には触れないでください。レンズ面が指紋やゴミなどで汚れていると、カメラ本体の性能が十分に発揮できませんので、プロアー等でゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。
- ・ 本機が汚れた場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■ カメラの【CARD】カバー、【USB】カバーの閉じかた

カバーを片手で閉じると、カメラ本体から浮いてしまう場合があります。両手の親指でカバーを左右均等に押し込んで閉じてください。



■ 無線機能(無線LAN、Bluetooth無線技術)の使用上のご注意

- ・ この製品は、無線を利用しているため、周りの機器に影響を与えたり、影響を及ぼされる可能性があります。
- ・ 本機は米国輸出規制(EAR)の対象となり、米国禁輸出国への輸出はできません。

使用周波数について

本機は2.4GHz帯周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。

他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

本機は小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- ・ 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- ・ 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の使用を停止してください。
- ・ その他、電波干渉が発生した場合などお困りのことが起きたときは、「お客様相談窓口」に記載されている連絡先までお問い合わせください。

周波数の見方について

無線LAN

2.4DS/OF2

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SSおよびOFDM方式を採用し、与干渉距離は20mです。

Bluetooth
無線技術

2.4FH1/XX2

この無線機は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SSおよびその他の方式を採用し、与干渉距離はFH-SS方式の場合は10m、その他の方式の場合は20mです。

電波転送の傍受について

電波によるデータの送受信は第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

不正アクセスについて

紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、当社では一切の責任を負いかねます。

無線機器としての利用について

本製品の無線機能は、この取扱説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途で使用して損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねます。

磁場・静電気・電波障害について

電子レンジ付近など磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。環境により電波が届かないことがあります。

また、2.4GHz帯の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

公衆LANへの接続に関して

本機は公衆無線LAN環境を経由して無線LAN接続することはできません。

仕向地について

本機の無線LAN機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規格等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

■ その他の注意

使用中、本機は若干熱を持ちますが、故障ではありません。

■ 著作権について

カメラで記録した静止画や動画は、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。ただし、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、これらのファイルを有償・無償に関わらず、権利者の許可なく、ネット上のホームページや共有サイトなどに掲載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁じられています。たとえば、録画したTV番組やライブコンサートの映像、音楽ビデオなど自分で撮影や録画したものであっても、動画共有サイトなどに掲載したり配付したりすると、他者の権利を侵害する恐れがあります。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負えませんが、あらかじめご了承ください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本文中の以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。なお、本文中には、™マーク、®マークを明記していません。

- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Windows, Windows Vista, Windows 7, Windows 8.1、およびWindows 10は、米国およびその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。
- Macintosh, Mac OS, QuickTime, iPhoto、およびiPhoneは、Apple Inc.の商標です。
- iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Adobe, Reader はAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- iOSは米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Wi-FiはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by CASIO COMPUTER CO., LTD. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、カシオ計算機(株)はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

- コントローラー部に搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

- EXILIM, EXILIM ConnectおよびEXILIM 360 Viewerは、カシオ計算機(株)の登録商標または商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

本製品に弊社が提供しているソフトウェアを、無断で営業目的で複製(コピー)したり、頒布したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。

■ オープンソースソフトウェア (Open Source Software) について

本製品には、以下のライセンス条件に基づいてライセンスされているソフトウェアが含まれています。

ping

Copyright (c) 1987 Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

DNS resolver

Copyright (c) 1985, 1988, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY

OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

md5

Copyright (C) 1990, RSA Data Security, Inc. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

STM32F4xx Standard Peripherals Drivers

STM32F4xx CMSIS

Copyright (c) 2015 STMicroelectronics International N.V.. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted, provided that the following conditions are met:

1. Redistribution of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of STMicroelectronics nor the names of other contributors to this software may be used to endorse or promote products derived from this software without specific written permission.
4. This software, including modifications and/or derivative works of this software, must execute solely and exclusively on microcontroller or microprocessor devices manufactured by or for STMicroelectronics.
5. Redistribution and use of this software other than as permitted under this license is void and will automatically terminate your rights under this license.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY STMICROELECTRONICS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS ARE DISCLAIMED TO THE FULLEST EXTENT PERMITTED BY LAW. IN NO EVENT SHALL STMICROELECTRONICS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

充電について

■ 充電中にカメラおよびコントローラーの動作確認ランプが赤色に点滅したときは

充電中にカメラおよびコントローラーの動作確認ランプが赤色に点滅したときは、以下のいずれかの場合により充電できないことを示しています。説明に従って処置したあとに、再度充電してください。

周辺温度または電池の温度が、高温または低温状態である場合

USBケーブルを抜いて常温でしばらく放置したあと、周囲の温度が15°C～35°Cの温度範囲で充電を再開してください。

タイマーが働いた場合

電池の未使用期間が長期化した場合や、パソコンの種類や接続環境によっては充電時間が延びる場合があります。充電時間が約5時間を超えると、タイマーが動き、フル充電でない場合でも充電を停止します。

また、電池の未使用期間が更に長期化した場合は約60分で充電を停止することもあります。

1) 長期間充電しなかった場合

USBケーブルを一度抜いて、再度差し込んで充電を再開してください。

2) パソコンで充電する際、接続環境によって十分な電力を供給できない場合

USB2.0準拠のUSB端子からのみ充電できます。500mA程度の電流供給ができるUSBポートに直接差し込んでください。

パソコンの給電能力については、ご使用のパソコンのメーカーにお問い合わせください。USBケーブルを一度抜いて、再度差し込んで充電を再開することもできますが、給電能力が低いパソコンの場合は、この動作を繰り返さないとフル充電にならない場合があります。

上記の処置をしてもエラーが起こる、または5時間を超えても充電が終了しない場合は、電池の不良が考えられます。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。

電池に関するご注意

■ 使用上のご注意

- 寒い場所では、電池の特性上、十分に充電されていても、使用時間が短くなります。
- 15°C～35°Cの温度範囲で充電してください。範囲外の温度では、充電時間が長くなったり、十分な充電ができないことがあります。

■ 保管上のご注意

- 充電された状態で長期間保管すると電池の特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保管してください。
- 過放電を防止するために、電池は半年に1回くらいの割合で一度フル充電し、カメラで使い切ってから保管してください。

海外で使うときは

■ 使用上のご注意

- 付属のUSB-ACアダプター(AD-C54UJ)はAC100V～240V、50/60Hzの電源に対応していますが、使用する国・地域によってUSB-ACアダプターのプラグ形状等が異なるため、あらかじめ旅行代理店などにお問い合わせください。
- USB-ACアダプターの電源に、電圧変換器等はご使用にならないでください。故障の原因となります。

カメラを廃棄するときは

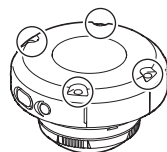
本機を廃棄する場合は、カメラとコントローラーに内蔵のリチウムイオン充電電池を取り出してリサイクルしてください。

★ 重要

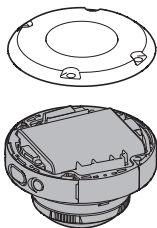
- 本機の電池はご自分で交換できません。電池を交換したい場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 電池を外すときは、本機の電源を切ってください。
- 電池をカメラから取り出すときに、パネルの縁で手を切らないようにご注意ください。
- ネジを取り外すときは、プラスの精密ドライバーを使用してください。

■ カメラ

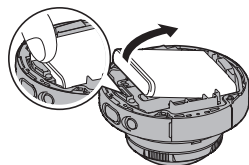
1. 背面のネジを4箇所外す



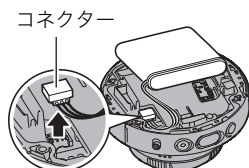
2. 背面カバーを取り外す



3. 図の位置に指を掛けて、電池を取り外す

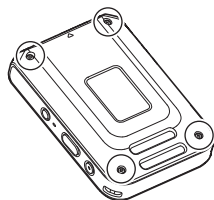


4. コネクターを上向きに引っ張って取り外す

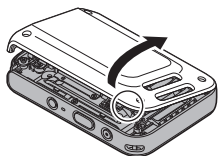


■ コントローラー

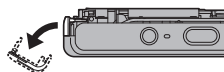
1. 背面のネジを4箇所外す



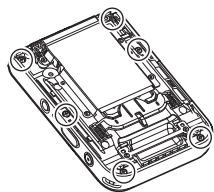
2. 背面カバーの丸で囲まれた部分を持ち、矢印の方向に回転させるようにして外す



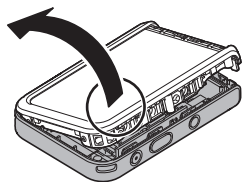
3. 先端カバーを矢印の方向に回転させるようにして外す



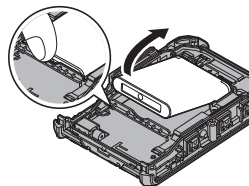
4. 背面のネジを6箇所外す



5. 液晶モニターが丸で囲まれた部分を持ち、矢印の方向に回転させるようにして外す



6. 図の部分に指を掛けて、持ち上げるようにして電池を外す



■ 充電式電池の取り扱いについて(リサイクルのお願い)



不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion 00

＜最寄りのリサイクル協力店へ＞

詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

• ホームページ <http://www.jbrc.com/>

■ 使用済み電池の取り扱い注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。

メモリーカードについて

使用できるメモリーカード、メモリーカードの入れ方については27ページをご覧ください。

■ メモリーカードについて

- 画像を再生したときに異常が発生した場合などは、フォーマット操作(95ページ)で復帰できますが、外出先などでこの操作ができない場合に備えて複数枚のメモリーカードをお持ちになることをおすすめします。
- メモリーカードは撮影/消去を繰り返すとデータ処理能力が落ちてくるので、定期的にフォーマットすることをおすすめします。
- 静電気、電氣的ノイズ等により、記録したデータが消失または破壊することがありますので、大切なデータは別のメディア(CD-R、CD-RW、ハードディスクなど)にバックアップして控えをとることをおすすめします。

■ メモリーカードのご使用上の注意

- メモリーカードの種類によっては、処理速度が遅くなる場合がありますので、できるだけ超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。ただし、超高速タイプのメモリーカードであっても、すべての動作を保証することはできません。動画の画質設定によっては、記録時間がかかるため、画像が一瞬途切れたり、音声が中断する場合があります。
- 当社で動作確認されたメモリーカードをおすすめします。詳しくは、カシオデジタルカメラオフィシャルWebサイトの「デジタルカメラお客様サポートメニュー」(<http://casio.jp/support/dc/>)をご覧ください。別冊「クイックスタートガイド」に記載の「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

■ メモリーカードやカメラ本体を廃棄/譲渡するときのご注意

本機の「フォーマット」や「消去」機能では、メモリーカード内のファイル管理情報だけが変更され、データそのものが変更されないことがあります。メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。たとえば以下のような手法をおすすめします。

- 廃棄の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。
- 譲渡の際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する。

また、内蔵メモリーのデータは「フォーマット」機能(95ページ)で完全に消去してからカメラ本体を廃棄・譲渡することをおすすめします。

リセット操作でリセットされる内容

撮影モード、再生モードで表示されるメニューで、リセット操作(95ページ)でリセットされる(初期値になる)内容の一覧表です。

—:この記号の設定項目はリセット操作には影響がありません。

重要

- 撮影モードによって使用できないメニュー項目があります。

■ 撮影メニュー


タッチ撮影	入	ISO感度	オート
動画画質	4K※	鏡面反転	切
動画手ブレ補正	標準※	風音低減	切
高速連写	切	撮影レビュー	タイプ2
明るさ	0.0	ダブル保存 (全天周)	切
ホワイトバランス	オートWB		

※撮影モードによって異なります。

■ 再生メニュー

回転表示	—
画像展開	—

■ セットアップメニュー



液晶設定	0	表示スタイル	—
情報表示	入	Language	—
回転ロック	カメラ:切 コントローラー:切	スリープ	5分
カメラ音		フォーマット	—
バイブレーション	入	リセット	—
日時設定	—	バージョン情報	—
		マルチカメラ登録	—

■ 無線設定

自動送信	切	無線LAN パスワード	—
自動送信 ファイル設定	 INT	ペアリング解除	—
送信時リサイズ	3M		

故障かな？と思ったら


現象と対処方法

現象	考えられる原因と対処
電源について	
電源が入らない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) お買い上げ直後、電池は充電されていません。充電してからご使用ください。 2) 本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(19ページ)。それでもすぐに電池が消耗するときは、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
電源が勝手に切れた。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 本機の電池が消耗している可能性があります。電池を充電してください(19ページ)。 2) カメラの温度が一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。カメラの電源を切ったまましばらく放置し、カメラの温度を下げたからお使いください。 3) 電源を入れたあと、動作確認ランプが赤く点滅して電源が切れることがあります。この場合、レンズエラーなどの内部エラーが考えられます。電源の入/切を繰り返したり、電池を充電してください。それでも解消しない場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
電源が切れない。ボタンを押しても、カメラが動作しない。	カメラのメモリーカード挿入部付近とコントローラーの【USB】端子付近にあるリセットボタン(8ページ)を、先が細いもので押して電源を切り、再度電源を入れてください。
充電について	
動作確認ランプが赤く点灯せず、充電できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) カメラおよびコントローラーに接続しているUSBケーブルを抜き差ししてください。 2) カメラおよびコントローラーの電源が切れた状態で、USBケーブルを接続してください。電源が入った状態でUSBケーブルを接続すると、充電が開始しない場合があります。
撮影について	
シャッターを押しても撮影できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 再生モードになっている場合は、「」(撮影)をタッチして撮影モードにしてください。 2) 「メモリー残量が足りません」と表示されている場合は、パソコンに画像を転送後、不要な画像を消去するか、別のメモリーカードをセットしてください。
ピントが合わない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) レンズが汚れている場合は、レンズの汚れを取ってください。 2) 手ブレしている可能性があります。カメラを置くなどして固定させて撮影してください。
画像にノイズが入る。	被写体が暗いとカメラの感度が自動的に上がるため、ノイズが発生する場合があります。ライトなどを使用して明るくして撮影してください。
撮影したのに画像が保存されていない。	<ol style="list-style-type: none"> 1) 記録が終了する前に電池切れになった場合、画像は保存されません。電池残量表示がになったら、速やかに電池を充電してください(19ページ)。 2) 記録が終了する前にメモリーカードを抜いた場合、画像は保存されません。記録が終了する前にメモリーカードを抜かないでください。

現象	考えられる原因と対処
風景が明るいのに人物の顔が暗くなってしまった。	人物が光量不足です。“明るさ”を＋側に調整してください(46ページ)。
海岸やスキー場で撮影すると被写体が暗くなる。	海岸や雪面からの強い光の反射に露出が合っているため、露出不足になっています。“明るさ”を＋側に調整してください(46ページ)。
動画撮影中に画像がぼける。	1) 撮影範囲外のためピントが合っていません。撮影範囲内で撮影してください。 2) レンズが汚れている可能性があります。清掃してください(100ページ)。 3) 撮影開始時から被写体距離が大きく動いた場合は、ぼけることがあります。
再生について	
再生モードにならない。	インターバル撮影中は再生モードに切り替えることができません。
再生した画像の色が撮影時に液晶モニターで見た色と違う。	太陽光など光源からの直接光がレンズに当たっている可能性があります。直接光がレンズに当たらないようにしてください。
画像が表示されません。	DCF規格に準拠していない他のカメラで撮影したメモリーカードを使用した場合は、ファイル管理形式が異なるため再生できません。
画像を回転できない。	次の画像は回転できないことがあります。 <ul style="list-style-type: none"> • 他のカメラで撮影した画像 • プロテクトがかかっている画像 • パノラマ画像
消去について	
ファイルを消去することができない。	ファイルにプロテクトがかかっている可能性があります。プロテクトがかかっている画像を、本機で消去することはできません。
無線機能について	
無線に接続できない。接続が途切れる。	1) カメラとスマートフォンが離れていると、カメラに接続できません。 2) スマートフォンが他の無線機器と接続している可能性があります。スマートフォンのWi-Fi設定で、本機が選ばれているか確認してください(62ページ)。 3) 電子レンジやコードレス電話機、他の無線機器などを近くで使用している場合は、接続が途切れることがあります。機器から十分に離してお使いください。
SSIDとパスワードを忘れた。	カメラの【●】(ムービー)とシャッターを押したまま【⏻】(電源)を6秒以上押し続けます。カメラの動作確認ランプが消灯し、パスワードが初期値に戻ります。パスワードを初期化すると、カメラとスマートフォンのペアリングが解除されますので、再度ペアリングを行ってください。パスワードの初期値については、62ページをご覧ください。

現象	考えられる原因と対処
Bluetooth無線技術での接続について	
カメラとコントローラーを接続できない。	1) カメラとコントローラーが離れていると接続できません。 2) カメラがスマートフォンなどと無線LANで接続しているときはBluetooth無線技術での接続ができません。無線LAN接続を解除してください。 3) カメラをパソコンに接続している場合は、USBケーブルを抜いて接続を解除してください。 4) それでも接続できない場合は、以下の手順でカメラとコントローラーを再度ペアリングしてください。 ①カメラからメモリーカードを抜く ②カメラのシャッターを押したまま【⏻】(電源)を1秒以上押し続ける ③コントローラーのシャッターを押したまま【⏻】(電源)を6秒以上押し続ける 動作確認ランプがオレンジ色に点滅して、Bluetooth無線技術での接続に必要なペアリングが開始します。
マルチカメラモードについて	
インターバル撮影が勝手に終了した。	メモリー残量が足りない、またはカメラの電源が切れたなどの理由でどちらかのカメラが撮影できなくなると、マルチカメラモードでのインターバル撮影は終了します。
その他	
画面に表示される日時や記録したデータの日付が正しくない。	日時の設定が間違っているので、日時を設定し直してください(93ページ)。
画面に表示される言葉が外国語になっている。	表示言語の設定が間違っているので、表示言語を設定し直してください(94ページ)。
パソコンにUSB接続しても画像が取り込めない。	1) USBケーブルが確実に接続されていない可能性があります。コネクタ端子部を確認して、確実にカメラに接続してください。 2) カメラの電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 3) USBケーブルをUSBハブなどを経由してパソコンと接続すると、正しく認識しない場合があります。USBケーブルはパソコンのUSB端子に直接接続してください。
カメラの電源を入れると、時計設定画面が表示される。	1) ご購入直後の初期設定をしていないか、電池が消耗状態でカメラを放置しています。各設定を確実に行ってください(26、93ページ)。 2) カメラ内部のメモリー管理エリアが壊れている恐れがあります。この場合は、リセット操作によりカメラの設定内容を初期値に戻してください(95ページ)。その後、各設定を確実に行ってください。再度カメラの電源を入れたときに時計設定画面が表示されなければ、カメラ内部のメモリー管理エリアが修復されました。再度電源を入れても時計設定画面が表示される場合は、別冊「クイックスタートガイド」に記載の「修理に関するお問い合わせ窓口」またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
画面に色々なマークや数字などが表示される	画面には撮影に必要な表示や撮影した画像の情報などが表示されます。セットアップメニューの「情報表示」を「切」にすると、画面に表示される情報表示の有無が選べます(92ページ)。
電源を入れた直後、ボタン操作ができない。	メモリーカードの容量が大きい場合、電源を入れてからボタン操作ができるまでの時間が長くなります。
画面に画像が表示されない。	1) カメラの電源が入っていない。 2) カメラとコントローラーがBluetooth無線技術で接続されていません(24ページ)。

画面に表示されるメッセージ

一定時間アクセスがなかったため、接続を中止しました	スマートフォンと接続できなかったときに表示されます。
温度が上昇したため電源をオフします	カメラ、もしくはコントローラーが一定温度を超えたため、保護動作が働いた可能性があります。 電源を切ったまましばらく放置し、温度を下げたからお使いください。
カードが異常です	メモリーカードに異常が発生したときに表示されます。電源を切って、メモリーカードを差し直してください。再度電源を入れても同じメッセージが表示されるときは、フォーマットしてください(95ページ)。  重要 <ul style="list-style-type: none">フォーマットを行うとメモリーカード内のすべての内容(ファイル)が消えてしまいます。フォーマットを行う前にパソコン等を利用して、メモリーカード内の正常なファイルを保存してください。
カメラとの接続に失敗しました電源をOFFします	カメラとコントローラーがBluetooth無線技術で接続できなかったときに表示されます(114ページ)。
この機能は使用できません	機能の組み合わせなどにより使用できない機能を使用した場合、操作の途中で表示されます。
このファイルを再生できません	ファイルが壊れているか、本機で表示できないファイルを表示しようとしています。
電池容量がなくなりました	カメラまたはコントローラーの電池がなくなったときに表示されます。
電池容量がなくなりました ファイルは保存されませんでした	カメラの電池がなくなったため、撮影した画像ファイルが保存されませんでした。
同時撮影ができませんでした	メモリー残量が足りない、またはフォルダーが作成できないなど、マルチカメラモードで2台のカメラが同時に撮影できない場合に表示されます。撮影を続けるには、該当するカメラの不要なファイルを消去する必要があります(32ページ)。
ファイルがありません	まだ何も記録していない状態、または記録内容をすべて消去して本機にファイルが一つもない状態です。
ファイルを作成できませんでした	対象となる画像が足りず、タイムラプス動画が作成できなかったときに表示されます。

フォルダーが作成できません	<p>999番のフォルダーの中に9999番のファイルが登録されている状態で、撮影しようとしたときに表示されます。撮影を続けるには、不要なファイルを消去する必要があります(32ページ)。</p>
メモリー残量が足りません	<p>撮影可能枚数を使い切った場合、または編集後のファイルを保存できるメモリーの空きがない場合に表示されます。不要なファイルを消去してください(32ページ)。</p>
問題が発生したためインターバル撮影を終了します	<p>メモリー残量が足りない、またはフォルダーが作成できないなどの理由でインターバル撮影が終了した場合に表示されます。撮影を続けるには、不要なファイルを消去する必要があります(32ページ)。</p>

撮影可能枚数／撮影可能時間

静止画

撮影モード	静止画サイズ (pixels)	画像ファイル サイズ	内蔵メモリー※1 での撮影枚数	microSD メモリーカード※2 での撮影枚数
全天周	3888×3888	3.68MB	12	4117
パノラマ	7456×1864	3.40MB	13	4458
超広角	3232×2424	1.93MB	23	7837

動画

設定内容/ pixels(音声)	転送レート (フレーム/秒)	1ファイル 最大サイズ	内蔵 メモリー※1 での 撮影時間※3	microSD メモリー カード※2での 最大記録 可能時間	1分録画時の ファイル サイズ
1:1 1440×1440 (ステレオ)	18メガビット/秒 (30フレーム/秒)	29分 または 4GBまで	18秒	1時間53分	134MB
パノラマ 2880×720 (ステレオ)	18メガビット/秒 (30フレーム/秒)		18秒	1時間53分	134MB
4K 3840×2160 (ステレオ)	76メガビット/秒 (30フレーム/秒)		4秒	27分	562MB
FHD(60fps) 1920×1080 (ステレオ)	28メガビット/秒 (60フレーム/秒)		12秒	1時間14分	205MB
FHD(30fps) 1920×1080 (ステレオ)	18メガビット/秒 (30フレーム/秒)		18秒	1時間53分	134MB
HS120 1280×720 (なし)	24メガビット/秒 (120フレーム/秒)		14秒	1時間27分	174MB
HS240 640×480 (なし)	24メガビット/秒 (240フレーム/秒)		14秒	1時間27分	174MB
STD 640×480 (ステレオ)	3メガビット/秒 (30フレーム/秒)		1分43秒	10時間22分	24MB

※1 内蔵メモリーをフォーマット後の容量(約46MB)の場合です。

※2 16GB : SanDisk Corporation製 16GB microSDHCメモリーカードの場合(記録時間はメーカーによって異なります)。

※3 内蔵メモリーでは、動画の転送レートを十分に満足できない場合があります。超高速タイプのメモリーカードをご使用ください。

- 撮影枚数／撮影時間は目安(おおよその数値)であり、画像の内容によって少なくなることがあります。
- ファイルサイズ／転送レートは目安(おおよその数値)であり、撮影対象によって変化することがあります。

- 容量の異なるメモリーカードをご使用になる場合は、おおむねその容量に比例した枚数が撮影できます。
 - ハイスピード動画撮影時は、撮影時間と再生時間が異なります。ハイスピード動画で10秒間撮影すると、再生時間は以下になります。
 - HS120の場合:40秒
 - HS240の場合:80秒
-

主な仕様／別売品

画像ファイル形式	静止画: JPEG(Exif Ver.2.3/DCF2.0準拠) 動画: MOV形式、H.264/AVC準拠、IMA-ADPCM音声(ステレオ)
記録媒体	内蔵フラッシュメモリ (画像記録エリア: 46MB※) microSD/microSDHC/ microSDXC ※ 内蔵メモリをフォーマット後の容量
記録画素数	静止画: 全天周: 単写 3888×3888/ 連写 1936×1936 パノラマ: 単写 7456×1864/ 連写 3840×960 超広角: 単写 3232×2424/ 連写 1600×1200 動画: 1:1(1440×1440 30fps)/ パノラマ(2880×720 30fps)/ 4K(3840×2160 30fps)/ FHD(60p)(1920×1080 60fps)/ FHD(30p)(1920×1080 30fps)/ HS120(1280×720 120fps)/ HS240(640×480 240fps)/ STD(640×480 30fps)
有効画素数	1195万画素
撮像素子	1/2.3 型CMOS(裏面照射型) 総画素数: 2114万画素
レンズ/焦点距離	円周魚眼レンズ F2.8/f=1.35mm(35mmフィルム △換算13.4mm相当)
フォーカス	フォーカス方式: パンフォーカス
撮影距離範囲(静止画)(レンズ先端から)	パンフォーカス: 約40cm~∞
露出補正	-2.0EV~+2.0EV (1/3EVステップ)
ホワイトバランス	オート/太陽光/曇天/日陰/ 昼白色蛍光灯/昼光色蛍光灯/ 電球/マニュアルホワイト バランス

感度設定(標準出力感度)	静止画: オート/ISO80/ ISO100/ISO200/ISO400/ ISO800/ISO1600/ISO3200 動画: オート
--------------	---

通信機能(カメラ)	Bluetooth: • 通信規格: Bluetooth ver2.1+EDR 出カクラス: Class2 Bluetooth Smart Wi-Fi: • 準拠規格: IEEE 802.11b/g/n • 使用周波数範囲: 1~11ch • 暗号化方式: WPA2
-----------	---

通信機能(コントローラー)	Bluetooth: • 通信規格: Bluetooth ver2.1+EDR 出カクラス: Class2
---------------	--

画像モニター(コントローラー)	3.0型TFTカラー液晶 (高性能クリア液晶) 921,600ドット 静電容量式タッチパネル
-----------------	---

外部接続端子(カメラ)	マイクロUSB端子(Hi-Speed USB準拠、USB充電、 USB給電駆動対応)
-------------	--

外部接続端子(コントローラー)	マイクロUSB端子(USB充電、 USB給電駆動対応)
-----------------	--------------------------------

マイク(カメラ)	ステレオ
----------	------

スピーカー(カメラ)	モノラル
------------	------

電源	カメラ: リチウムイオン充電電池(内蔵) コントローラー: リチウムイオン 充電電池(内蔵)
----	--

電池寿命

下記の電池寿命は温度23°Cで使用した場合の電源が切れるまでの目安であり、保証時間または保証枚数ではありません。低温下で使うと、電池寿命は短くなります。

静止画撮影枚数	約260枚※1(コントローラー接続時) 約265枚※2(カメラ単体動作時)
動画実撮影時間(全天周動画)※1	約1時間
動画連続撮影時間(全天周動画)※2	約1時間35分
動画連続撮影時間(ハイスピード動画HS240)※2	約1時間15分
連続再生時間(静止画)※3	約3時間55分

- 温度:23°C
- 使用電池:
《カメラ》NP-170(定格容量:950mAh)
《コントローラー》NP-150(定格容量:950mAh)
- 記録メディア:16GB microSDHCメモリーカード(SanDisk Corporation製 UHS-1シリーズ)

※1 CIPA(カメラ映像機器工業会)規格に準ずる

※2 カシオ基準による

※3 約10秒に1枚ページ送り

- 前記は、新品の電池のフル充電状態での数値です。繰り返し使用すると、電池寿命は徐々に短くなります。
- この数値は実際の使用での電池寿命を保証するものではありません。
- 高速連写の使用頻度や電源が入った状態の時間、その他設定、使用時の温度により、撮影時間または枚数は大幅に異なる場合があります。

消費電力 カメラ:DC 3.7V 約3.6W
コントローラー:DC 5V 約2.6W

外形寸法 カメラ:
直径60.9mm×奥行き40.7mm
(ヒンジユニット含まず)
コントローラー:
幅59.2mm×高さ86.7mm×
奥行き19.4mm
合体:
幅60.9mm×高さ154.8mm×
奥行き46.2mm(ヒンジユニット
含む)

質量 カメラ:
約100g(ヒンジユニット含まず、
メモリーカード含む)
コントローラー:約103g
合体:
約238g(ヒンジユニット含む、
メモリーカード含む)

■ USB-ACアダプター (AD-C54UJ)

入力 AC100-240V 50/60Hz
90mA

出力 DC5.0V 650mA

使用周囲温度 5~35°C

外形寸法 幅64.6mm×高さ38.4mm×
奥行き24mm(突起部除く)

質量 約40g

■ 別売品

(2016年11月現在:発売予定品含む)

- USB-ACアダプター AD-C54UJ
- EXILIMトライポッド
マウンター EAM-1
- EXILIMマルチアングル
クリップ EAM-2
- EXILIMマルチアングル
ベルトセット EAM-3
- EXILIMマルチアングル
スティック EAM-4
- EXILIMマルチカメラ
マウンター EAM-8
- EXILIMデジタルカメラ EX-FR100CA
- EXILIMデジタルカメラ EX-FR200CA

上記をはじめとする別売品の最新情報については、携帯電話やスマートフォンで下のQRコードを読み取るか、下記アドレスに接続して、Webサイトでご確認ください。また、カタログでもご確認いただけます。



<http://casio.jp/dc/option/>

別売品は、お買い求めの販売店、またはe-casio カシオオンラインショッピングにご用命ください。

URL: <http://www.e-casio.co.jp/>

CEマーキングは、ヨーロッパ地域の基準適合マークです。



Manufacturer:
CASIO COMPUTER CO., LTD.
6-2, Hon-machi 1-chome, Shibuya-ku, Tokyo 151-8543, Japan

Responsible within the European Union:
Casio Europe GmbH
Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany
www.casio-europe.com

To comply with the relevant European RF exposure compliance requirements, this EX-FR200CA, EX-FR200CT must not be co-located or operating in conjunction with other transmitter.

Note: This equipment is intended to be used in all EU and EFTA countries. Outdoor use may be restricted to certain frequencies and/or may require a license for operation.

For more details, contact your customer service representative.

Frequency band and maximum output power

- EX-FR200CA
 - IEEE802.11b/g/n(2.4GHz) ≤ 10.5 dBm
 - Bluetooth(2.4GHz) ≤ 4 dBm
 - Bluetooth LE(2.4GHz) ≤ 8.5 dBm
- EX-FR200CT
 - Bluetooth(2.4GHz) ≤ 4 dBm

Hereby, Casio Europe GmbH, Casio-Platz 1, 22848 Norderstedt, Germany, declares that the radio equipment type Digital Camera Model EX-FR200CA, EX-FR200CT is in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:<http://doc.casio.com>

CAUTION

Risk of explosion if battery is replaced by an incorrect type.

Dispose of used batteries according to the instructions.

索引

英数字

Bluetooth	24, 57
DCF 規格	90
EXILIM Connect	60
FHD 動画	42
ISO 感度	48
Language	94
microSD メモリーカード	27
microSDHC メモリーカード	27
microSDXC メモリーカード	27
USB ドライバー	87

あ

明るさ	46
印刷	81
インターバル撮影	39
液晶設定	92
液晶モニター	9

か

回転表示	55
回転ロック	92
拡大	52
画像展開	56
カメラ音	93
鏡面反転	48
高速連写	45

さ

再生 (再生モード)	32, 50
撮影 (撮影モード)	30, 35
撮影レビュー	49
時刻	26, 93
自動送信	66
自動送信ファイル設定	67
充電	19, 106
消去	32
情報表示	92
シングル表示画面	76
スマートフォンから見る	65
スマートフォンで撮影	63
スマートフォンへ送る	64
スリープモード	25, 94
静止画	30, 32

送信時リサイズ	67
---------	----

た

耐衝撃性能	96
タイムラプス	53
タッチ撮影	44
タッチパネル	18
ダブル保存 (全天周)	49
手ブレ	42, 45
電源	106
電池	19
電池残量	23
動画	42, 50
動画画質	44
動画手ブレ補正	45
同時再生	78
同時撮影	74

な

内蔵メモリー	27
日時	26, 93
日時設定	93

は

バージョン情報	95
ハイスピード動画	42
パイプレーション	93
パソコン	82
日付	26, 94
表示言語	94
表示スタイル	94
ピント	31
ファイル	89
風音低減	49
フォーマット	29, 95
フォルダー	89, 90
プリンター	81
プリント	81
ペアリング解除	68
防塵性能	96
防水性能	96
ホワイトバランス	47

ま

マルチカメラ登録	70, 95
マルチカメラモード	69

マルチ表示画面	74
ムービー	42, 50
無線 LAN	57
無線 LAN パスワード	68
無線設定	66
メッセージ	115
メッセージの言語	94
メニュー	43
メモリーカード	27, 95, 110

ら

リセット	95
リセットボタン	112
露出補正	46

CASIO®

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA1706-B

© 2016 CASIO COMPUTER CO., LTD.